京城日報

本紙定價　壹部參錢　壹ヶ月七拾五錢　▶郵稅　參ヶ月前金▲　六ヶ月前金　壹ヶ年前金
廣告料金　七號活字一行八十錢▲二號活字　四號活字
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　編輯　營業

七月八日夕刊　(朝夕併せて八頁)

●軍事防禦令

聯合國は浦鹽に日、支、米、英、チェックの軍事共同防禦令を布けり(浦鹽電報)

●兩政府援助契約

反勞農政府暴動起る

莫斯科來電!!!ドン哥薩克、イバン哥薩克兩政府の間に勞農政府に反抗し双互援助の契約成立し、南部露國各州の聯邦制度組織の事考慮せられ居れり尚中央露國地方及びウファノスラタウスト地方に反勞農政府暴動起り勞農派は孰れも解散或は捕縛されたりと(倫敦電報)

●チ軍赤衛軍襲擊

チ軍ニコリスク入城準備

浦鹽チェック大本營に達せる電報に依れば四日チェック隊はニコリスクの赤衛軍を不意に襲へるが敵は五日朝未明より倉皇鐵橋を破壊して北方に撤退せり遺棄せられたる屍體多數あり敵軍にはベルムトムスクより來れる革命義勇軍マジャール人多數あり、獨逸將校は裝甲車を指揮せりとチェック隊は目下ニコリスクに入城の爲め鐵橋を修繕しつゝあり(浦鹽電報)

●カルロコフ軍チ軍聯合成る

五日ボグラニチナヤよりの來信に據ればカルロコフ軍とチェック軍との聯合成立しチェック軍委員は哈爾賓に向へる爲別報にはグラデコフにはチェック軍近亡の士官とハレカ司令の下に千名の兵士あり中三百名は水兵百八十名はチェックの軍なりと而して過激派軍はニコリスク、ウスリースキー及びグラデコフに對しチェック軍米軍と共に來る可しとて狼狽し居れり(哈爾賓電報)

●チ軍援助要求

浦鹽を占領せるチェック軍は同地聯合國領事團に援助を求め來れるが領事團は對應策を講ず可く連日會議を開催し居れるもチェック軍援助に關しては未だ何等決定する所なき模樣なり(浦鹽電報)

●新政府物資供給拒絶

西部西伯利にて政權を掌握したる新政府は歐露への穀物輸送に關する切なる要求を拒絶しレニン政府を顛覆し過激派の權力を一掃する迄は物資の供給を爲さずと聲明せり而して歐露は今や糧食に窮して餓死するもの頻々たりと(哈爾賓電報)

●米軍敵逆襲擊退

三日朝敵は密集部隊を以てヴォー及びボアデラロべに於ける米軍の新陣地に對し逆襲を行ひたるも猛烈なる砲撃にて撃退されたり(倫敦電報)

●英軍三哩前進

英軍はアメルニヤ正面に於て三哩に亘り前進せり(倫敦電報)

●巴威耳旅客制限

東京特電―巴威耳王國にては外國人の交通に制限を加へ食物を節約する爲め特に許可を受けたる者の外三週間以上の滯在を許さず旅館收容定員も半減し旅人下宿にも制裁を加へたり(東京特電)

●土耳古皇帝薨去

土耳古皇帝モハメッド五世は四日薨去せり(アムステルダム電報)

●新國會議員數

政府の觀測に依れば、安徽、兩廣、四川を除き新國會議員數は參議員百四十二、衆議員三百二十五、合計四百六十七名なるを以て無論兩院共成立法定數を超過すべく總統選擧會成立定數四百二十九名に對し三十八名の超過なりと尤も右の內には選擧を執行せざる湖南省の分を含めるも同省選擧も政府豫想通り執行せらるゝ事を疑はずと(北京特電)

●龍濟光出發

龍濟光氏は五日夜奉天に向け出發せるが同地にて張作霖氏と會見し武器の供給將校の傭入等に就き協議す可しと(北京特電)

●匯業上海支店

中日匯業銀行は八月一日より上海に支店を設置し業務を開始すべしと(北京特電)

●取引所監察

農商務省商工局にては新に書記官三名をして取引所其他市場の監察に任ぜしむる事とせり(東京特電)

●仲買委員留任

大阪堂島仲買委員の總辭職は留任に決したるも解決困難にて八日の立會も停止せり(大阪特電)

●勝田男薨去

退役陸軍中將貴族院議員男爵勝田四方藏氏は七日神戶にて薨去せり享年七十四歳(神戶電報)

●岩崎男一行著釜

岩崎男一行は七日午後七時釜山著の新羅丸にて歸東の途に就く筈なりしも濃霧の爲め同船の出港未定なり(釜山特電)

●臺灣教育視察團

臺灣小學校鮮滿教育視察團十五名は八日午前九時半來安視察の上一泊九日朝奉天に向ふ筈(安東特電)

●居中調停如何　●●●●

アムステルダム電報に依れば和蘭、西班牙、瑞典、諾威、瑞西の五箇國は居中調停を提議すべしと稱せらるゝが某外交通の觀測に依れば西班牙は今日迄嚴正中立を維持し來り乍ら動もすれば獨逸側に好意を有し過般墺國大使が同國外相を訪問せし際も直ちに講和斡旋の依頼なりと解せられたる程なるが瑞典諾威等の中立國は戰爭永續に連れ益々其の立場に困難を感じ來り殊に船舶四十萬噸を聯合國側に提供し食糧及び工業原料品の供給を受け一時焦眉の急を救はれし事ありしほどにて一般に講和を熱望し居れるが瑞西と和蘭に至りては交戰國の間に介在する小國にして其立場の困難なる事更に一層甚だしきものあり瑞典人にして墺匈國の依頼を受け講和に關する聯合國側の見解を探り居る者あり和蘭人にして獨逸の手先となり英國に於て秘密講和の運動を試み居れる者頗る多き有樣なれば右五箇國が獨逸外相キュールマン氏及び英國外相バルフォーア氏の演說に徵して講和の機運動けるものとして居中調停に當るやも知れずと

●米海軍計畫

總額三十二億圓

米國下院は十六億一千萬弗の海軍經費案を可決し裁可の爲大統領の手許に廻附せりと報ぜらる該案は昨年十二月五日議會に提出せられたる一九一八年七月一日より一九一九年六月三十日に至る

▼戰時海軍豫算 にして最初政府の提出せる總計額は十億餘萬弗なりしが本年二月二十日下院は更に二億三千餘萬弗を追加し之を以て目下建造中なる諸艦艇の竣工期日を繰上げると同時に內一億弗を以て驅逐艦以下の建造並に兵器軍需品費に充當する事と爲せり然るに下院委員會に於ける査定額は十三億二千五百萬弗に增加せられ內一億弗を以て驅逐艦以下の造艦費に充當する事は追加案通り承認したるも航海費は一億八千八百萬弗に倍加せられたり斯くて四月廿一日下院本議會に於ては

▼討議僅に二日 にして更に五千七百萬弗を增加し總計十三億八千五百萬弗を可決し直に之を上院委員會は下院案に對し更に二億餘萬弗を增加し既定三年計畫に依る第三年度の戰艦三隻巡洋戰艦一隻及び偵察巡洋艦三隻を起工(一九年度は繰延の豫定)し豫定の如く此造艦を續行することを議決し上院は五月廿三日全會一致を以て委員會案を通過せり此結果該案は

▲兩院協議會に 移され三年計畫に依る前記造艦は遲くも一九一九年六月末日迄に起工すべく之が爲政府をして新に三千萬弗の造船物料を提出せしむる事とし同件は上院通り可決したり即ち其總額は十六億一千餘萬弗と爲り七月一日上下兩院共協議會案通り可決せり要之增加經費の重なるものは起工繰延の豫定なりし同計畫に依る第三年度造艦を續行することゝ驅逐艦以下の艦艇急造の結果にして米國議會が常に政府を督勵して海軍力增勢に全力を注ぎつゝあるは頗る注目に値すべく大統領は無論之に裁可を與ふべしと云へり

●當時の浦鹽

某歸客談

浦鹽より歸客談に曰く浦鹽事變後チェッコスラヴァック軍の一部は同市の守備に任じ一部はニコリスク方面に向つて進軍せるが同市に於ける赤衛軍はアラストヌイに於て三日平定し赤衛軍は其抵抗にて約一萬のチェックを喰止めつゝあるとの風說あるが南軍の大奮戰は多分ハバロフスクに於て演ぜらるべく豫想されたり事變當日チェック軍に對し米國軍艦よりも陸戰隊を上陸せしむべき交渉ありしも同國の態度曖昧なる爲め之れを謝絕せりとの風說あり又チェック軍が獨逸人經營に係る同市の唯一の百貨店クンスト、アルベルス及び食器類店ラングリーチ商店捜索の際多數の兵器を押收せしのみならず潜伏し居れる獨逸將校數名を拘引すると共に護衛兵を附して嚴重に警戒しつゝあり過激派は首領株の立籠りし要塞參謀部がチェック軍に包擊され降伏を餘儀なくせられし爲遂に一網打盡の運命に遭ひ當日同軍の護衛兵に擁せられ其本部に送られし途中群集より鐵拳の雨を浴び何れも面を歪めて引立てられしのみか甚だしきは同派に同情せる婦人迄が笑骨の側杖を喰ふに至れり斯くて過激派本部に在りし黨員名簿をチェック軍に押收されし結果同黨員は名簿に依りて日々逮捕されつゝあり去れば昨日迄過激派の名の下に意氣揚々市中を濶步せる者も直に新政府の徽章たる白の肩章を附して反過激派に豹變せるものあり又は新政府の軍服を著し勳章を帶びて狂喜せるものあり殊に目に着きしは支那人にして彼等は逸早く店を閉ぢ五色の旗を揭げて支那國民たるを表示し尙軍艦よりも陸戰隊を上陸せしめて中立地帶を警戒したる事なり

●辭令傳達式擧行

總督府にては九日午前八時より永東軍博士外四十八名に對し辭令傳達式を擧行すべし

●郵貯特別扱規則

九日總督府令を以て府又は府の區域を包含する學校組合公金受拂に依る郵便振替貯金特別取扱規則を發布し即日施行さるべし

●新築さるゝ南大門驛

提出案詮議中

南大門驛新築に關しては目下鐵道院に於て滿鐵京城管理局よりの提出案に就き詮議中にて本年末には起工の運びに至るべきが未だ案の內容に就ては知るを得ざるも新築に就ては種々の希望等あり遠大の規模の意見もあれど大京城の將來が百萬二百萬の人口を有する事は考ふる可しとは考ふる百七八十萬圓の經費を以て新築すること、なるべく場所は現在の所にて驛後の河川は暗渠とせず川の位置を變更して地積を得る事となる可しと

◎造船界傾向

▲濫造船防止 先般海事部長會議の結果粗製濫造船防止の爲め建造中に海事官を派遣し嚴密なる檢査を爲さしむる事となれる由なるが元來造船には組立と鋲打と完成の三時機に監督を要くる必要あり尙造船所にては現に實行しつゝあるが只海事官の駐在せざる土地にては少しく困難なるべしと思はる

▲混凝土船 鐵筋混凝土船造船が近來造船界の新傾向となれるが當所に於ては數年前より此に就ては相當に考慮を費し現に大波止他の油槽槽のポットンには混凝土を使用し居り先日米國に出張したる三菱の三浦技師は專門に調査研究し來る筈なり只混凝土船に就き十分の研究を要する點は接續の彈力抵抗力の強弱如何にあるが未だ完全なる判斷はつき居らず竹筋混凝土は淡冶鐵山にて專賣の如く賣居れるも當造船所にも大正四年既に鐵冶工場の際に使用し居れり將來果して混凝土船の全盛期に達するかは多少疑問なるも先日米國にて輕石船を建造したりとありしがコハ何等かの誤譯にて輕石を混入して重量を減ずる爲めならんが同船の搬運は抵抗力及び重量の如何に依りて決せらるべしと信ず

▲標準船型數 今回遞信省にて船舶標準型を決定する事となり尙造船所提出の型も三項採用されたるが當所にては千二百噸の小型を除き普通六千三百噸八千四百噸、一萬千噸の三型を使用し居れり遞信省採用の型數は少し多過ぎる樣に思はる英國にても標準型は五種位なりと記憶す當所にては最近八千四百噸型の僅にて更に種類を擴大し得る研究をなし居れり

▲下受工塲難 標準型決定の曉には鋼板の厚さその他各種の統一せる材料を以て各型の船材に流用し得る便あるが現今船舶材料の外國註文は輸送に時機を失して困難多きより下受工場の搬運を見ば非常に便利なり只角注文しても他の製造せるに乘じて大阪市方面へ買ひ飛ばす事もありて時機を失し大阪に製造中を引受けて間に合はず不便勘からず若し約を守り德義を重んじて機質なる作業をなさば北仕事は十分に提供する考へなり

▲製鋼所擴張 鋼鐵交換による鐵材の到著は二ヶ月位遲れて十月頃に到著すべし尙造船所に於て三日前進水せる七郞丸の後には輕巡洋艦多摩の龍骨を直ちに据付る豫定なり大型驅逐艦浦風は竣工に近づきつゝあり大阪商船のヒマラヤ丸は本月末進水の豫定也、又浦上に工事中の製鋼所は本年中に一部の工場を運轉せしむる計畫なれど到底困難なるべし材料は第二浦よりの銑鐵を使用すれども七分通りは造船所に使ひ切て足り現下鋼りに集結し居るつゝあり工場も漸次擴張する豫定なり(長崎三菱造船所江崎博士談)

●殖産銀行設立彙報

株式募集 條件

朝鮮殖産銀行の株式募集は本紙既報の如く內地朝鮮各主要地に於て行ふ事となりしが條件左の如し

▲資本金　一千萬圓

▲一株の金額　五十圓

▲募集株數　十三萬六千四百三株(總株數二十萬株の內銀行令に依り二十圓拂込濟株一株に付五十圓株一株を割當つべき六萬三千五百九十七株を除きたる殘餘)

▲應募者資格　帝國臣民又は帝國法令により設立したる法人若くば公共團體

▲申込期間　七月十六日より同十八日まで

▲申込證據金　一株に付三圓、募入の場合には證據金は第一回拂込金の內に振替ふ募入外れの場合には確定後直にその旨を通知し證據金を返戾すべし

▲申込手續　株式申込書一通に夫々記入をなし又別に印鑑用紙三葉に同一の印を押捺し申込株數に相當する證據金を添へ取扱店に差出す事

▲募入決定方法　申込株數が公募株數を超過したる場合は七月十日現在農銀各株主の申込に屬するものゝ內その所有の農銀株式數より法定割當てを受くべき殖銀株式數を除きたる殘餘の株數に相當する申込株は優先に募入しその殘餘の分は按分にて募入額を定むる事

▲第一回拂込金額　一株に付廿圓

▲拂込期日　八月二十日

▲政府の配當保證　向ふ五年間は政府にて民間持株に七分の配當保證をなせり

▼募株扱銀行

十六日より十八日迄公募する株式募集取扱店は內地に於て日本興業銀行第一銀行朝鮮銀行三十四銀行第三十銀行の東京大阪京都横濱神戶名古屋廣島下ノ關熊本函館各本支店朝鮮にては鮮銀本支店出張所各農工銀行漢城銀行朝鮮商業銀行韓一銀行各本支店出張所第一、十八、百卅銀行各支店を網羅し殆んど全鮮の主なる金融機關を擧げてその取扱ひをなす事となり居れり

▼好投資物

募集株は前報の如く要するに五年間は配當七分を下る事なく五年後は業務の進展により配當增加の觀測は先々居り且つその基礎の鞏固なる點に於ては何人も些の疑ひを挾まざるに付き一個の投資物として一般の氣受け惡からざる如く期日前なるに拘らず殖銀設立事務所に申込の遠方より來るもの多き由なり定期預金にして五分若くば六分に預入し置くより殖銀株式投資は有利なりと云ひ得べし

▼期間前取扱

朝鮮殖産銀行株式の公募は十六日より十八日までとなり居れるも右期限前と雖も各取扱銀行は便宜上株式申込の取扱ひをなす由なり

●公設市場と警察の取締(一)

屢報の如く京城中央公設市場問題は市場條規案及び收支目論見書の發表を見、既に京城府に移議せられ其後當局にても之れが實現に就て着々步武を進めつゝあり此の上は

▲當局の斷行 と市民の援助に俟つべき而已なるが更に商業會議所の希望を聞くに由來公設市場たるや種々の點に就て警察の援助に俟つべきもの多きは言ふ迄もなく或は衛生方面より或は秩序の方面より或は不良の徒の出入を取締る點より所謂警察行政の範圍に屬すべきもの多く勿論此等の事項は市場自ら取締を嚴にして以て警察と協力すべきものなるも公設市場は更に進んで警察の援助に俟たざるべからず公設市場には廣場を設け出産者と商人又消費者との

▲直接取引の 便に供する計畫あり且目的とする所は專ら生産者と消費者との利益を計り且つ一方には市價を統一し商人の壟斷を防せんとするものなるが故に郊外より京城に搬入せらるゝ野菜果物の如きは悉く此處に集め其の需要も亦此處に集め以て其の間市價の調一を期せざるべからず若し此の事にして失敗に歸する時は折角公設したる意義の半ばは減却せらるゝものと謂はざるべからず[illegible]すら償ふ能はざるの狀態に在り斯くの如きは正に公設市場に於て救濟せざるべからざる事柄なりとす

▲取引値を以 て商人に卸す市場は其の日の賣買を以て消費者の購買を待たしむべきより一旦公設市場を開市したる曉には京城市內に搬入せらるゝ食料品は悉く警察力を以て廣場に集合せしむるの方法を講ずるを得策とす按ずるに警察は從來默許したる道路上の取引を禁ずべき命令の發布を以て此の目的を達し得べき事明かなり

●西鮮の農況

足立東拓殖産課長談

黃海平南兩道に出張中なりし東拓支店殖産課長足立丈次郞氏の農況談に曰く西鮮方面は降雨多量にして天候良好なるため挿秧狀態甚だ佳なり沙里院より海州に至る間の如き山間部と雖も夙に植付を了し居れり唯安岳方面の高地は聊か用水不足の模樣ありしも今回の降雨にて多分植付も終了したるならん又平安南道も植付用の用水は十分なりし由なり降雨後に到り各地共大ひに挿秧を急ぎたる結果麥の收穫は聊か時期を失せし觀ある如し但し平南本年の麥作は稀有の好況を呈し平年の三割增と稱せられ黃海道平野の麥作も平年作を下らざるものゝ如く素より悲觀の必要なし尙は農民は何れも天候の順調を喜びつゝあり

●光州市況閑散

光州にては米穀の出盛期に引續き雜貨の移入旺盛を極めたる結果市況一時繁忙を呈せしが昨今に至り農繁期に出りしこととて附近鮮人の出市殆んど皆無の狀態なり從つて市況も至つて閑散の狀にあるは每年の例にして敢て怪しむに足らざるが如く同時に金融は稍緩漫を極めつゝあるがやがて新麥の出廻りを見るに至らば市況漸次活氣を帶び來ると共に新規資金の需要を喚起するに至らんと

●仁川期米暴落

大阪期米市場大暴落の餘波を受け仁川取引所の八日前場は先限二十一圓九十五錢と六日後場比十一錢安に寄附きたる結果九月限は一部の投げ物を誘致し人氣沮喪新規買物多く忽ち二十一圓十五錢と實に寄附より八十錢の大暴落を演出したるため二節以後取引を停止したり尙ほ追證を徵收し市場を整理せば又復再會すべしとの事なり

●京仁間割引

京管局にては海水浴場遊び等の爲め仁川に往復する旅客の便を計り七月十一日より九月十日まで南大門驛にて往復割引回數乘車券を發賣すべく通用期間は發賣の日より九月二十二日迄有效なりと尙右回數乘車券は南大門仁川兩驛に乘降するものに限り有效にて其他の驛に乘降したるときは無效となるべしと

●群山港經濟狀況

群山港に於る六月中の經濟狀況を聞くに梅雨季に入ると共に穀類の流出を緊急し一般減少し相場も軟調に入り商人は貯藏米の地出殺を急ぐあり[illegible]を求むるが每年の例なるにかゝはらず本年はこれに反し高値の高値に誘引せら[illegible]狀態にて未曾有の[illegible]

●道府尹郡守會議

京畿道府尹郡守及び府郡財務主任會議は第一日は八日午前八時より道會議室にて開催し松永長官の訓示並に府尹郡守の管內狀況報告ありたり

●全北自動車出願

全州[illegible]中氏は萬頃、井邑間の自動車運輸を又泰仁在住[illegible]成河氏は井邑、金堤間の自動車營業を出願中なり

●軍司令官動靜

松江部隊巡察中の松川軍司令官は六日楚山著六七の兩日同地に滯在し八日碧潼に向け出發の豫定の旨七日軍司令部に電報ありたり

●立花師團長出張

第十九師團長立花中將は八日朝八時五十分龍山驛發列車にて水原に向へり

●有松長官入京期

慶北道長官有松英義氏は八日午後東より平壤に著一泊の上九日午後七時五十五分南大門驛著入京すべし

●嘉納鮮銀副總裁

朝鮮銀行副總裁嘉納德三郞氏は來る十三四日中東京出發京城に來任の旨鮮銀に通知ありたりと

●川上理事父逝去

東洋拓殖理事川上常郞氏の嚴父與吉翁は久しく病中なりしが七日病勢革まり午前十一時愛媛縣宇摩郡二名村字川江の自邸に逝去したる旨東拓支店へ[illegible]

茶前酒後

◎西伯利の血軍も全族一致の行動に非ず兄榮親大公の復辟を助る者
◎內には逃亡して各人種と行動する別働隊も在て思ひ思ひの行方也
◎然ども何れも其の目的とする敵は獨墺側勢聯合軍の戰ひとなるは當然
◎聯合軍若血軍を援助せば此處にも過激派をも敵とす
◎東西西伯利兩政府は合作して合同運動をなすべしと稍見るべきか
◎氣車好漁に外部より指揮すと[illegible]
◎吐露鬼語浦鹽に來り米國に逃亡すべしと傳へらる米は亡命者の隠家
◎敵も味方も落ち行先は九州佐渡
◎西西伯利新政府は歐露より穀物輸送の申込を撥ね付けて應ぜず
◎冷人政府や過激派を兵糧攻めにするも一策也內輪喧嘩に注意せよ
◎支那政戰に於て何と云ふも第一番の策武者荒料理人は徐樹錚君也
◎策士の倪嗣冲君病み北方の蜂窠は徐君の活動が赤裸々に現れ來る
◎北洋子で進まば新國會議員なども徐君の原息の一變を要心すべし
◎醫師が金儲に熱中し官憲の目を偸む傳染患者を誤魔化すは言語道斷
◎醫師の此無法は病菌を散布すると同樣也北陸間恐しと謂べきに非ず
◎醫師に金儲無用と野暮は云はざるも醫師道德を嚴守せよと敢て勸告す

人事消息

▲前彈判事　高等法院より大邱覆審法院部長に轉任せし同判事は九日午前八時四十分發列車にて赴任の筈
▲朝倉鐡藏士　所用にて大阪に出張中なりしところ七日夜歸京
▲金讃仁作氏(代議士)　八日朝入京巴城館へ
▲足立丈治郞氏(東拓殖産課長)　西鮮出張中の所七日夜歸任
▲鄉津京城地方法院檢事正　管內巡回中のところ七日午後歸任

●阿部前社長發期

阿部前本社長は愈々十日午前八時四十分南大門驛發列車にて出發歸東す可し

●加藤社長東上

本社長加藤房藏氏は社務を帶び九日朝南大門驛發列車にて東上の豫定なり歸京は多分今月末或は八月初旬となる可し

●郡守の出發

開城內地人郡守を置かるゝ事と成り山崎三郞氏開城郡守に任命されたる結果前郡守金然商氏は漣川郡在勤と成り去る四日午後出發したるが見送りの人多數なりき

●記者懇話會例會

既報の如く京城新聞記者懇話會第三次例會は七日午後六時半花月にて開會されたるが出席者三十餘名定刻石森幹事の開會の辭に次で諸氏の報告あり終つて宴に移り十二分の歡を盡して十時過ぎ散會せり

送阿部無佛先生歸東　蘇山

一途一別送迎頻。不堪今宵苦惜辛。會洞旅家三伏暑。他鄉又送故鄉人。

大正七年七月一日改正奥行

◇雜魚すくひ 八日雨の霽れ間京城西郊外にて

妾腹の子の大詐欺(三)

百萬長者閔泳達の悴閔明植 惡事の露顯を怖れて自殺を計る

◇明植は三年、明均、顧善は各二年附帶は末森の敗訴 以上の如く閔明植は僞造證書の印章や文書を以て末森より二萬五千圓と李恒九より三萬五千圓を詐取したるも實際に手に殘りたるは一萬圓足らずにて尚六千五百圓は呉顧善より小枝を裂かれし爲め殘る所なき上に是等の事情を知りたる例の

▽浮浪の徒が 甘い物に集まる蟻の如く附き纒ひ閔明植を煽り上るといふ始末にて閔明植はかゝる大詐欺を働きながらも忽ち元の木阿彌となりて亦々生活に窮する一方兎もすればかすかずの惡事が發覺して後に手の廻り相な恐怖とにより全く進退谷まりてか僞に彼れが鐵路警察署に逮捕さる、一兩日前のこと清進洞の妾宅にて妾安英子の隙をうかゞい縊紐を懸けて

▽縊死を企て 人事不省に陷り居るを英子が發見し直ちに抱へ下して應急手當を加へたるため辛くも蘇生したる事實あり斯かる模樣にて留置取調べ中も見張りの警官は寸毫も油斷ならざりしが遂に身柄は一件書類と共に京城地方法院檢事局に送られ事件が斯る錯綜して居ると關係者が意外に多きと爲め豫審に附されて前後十五箇月間も

▽拘束の身と なりて取調を受けたるものにて尚檢事の起訴に依り豫審に附せられし關係者は前記の李明均、呉顧善の兩名及び元憲兵軍曹なりし某内地人と元工兵中尉にて金鵄勳章をも所持し居る某内地人貸屋業者の兩名ありしが憲兵軍曹の方は豫審終結の際免訴放免となり工兵中尉は公判に附せられしが

▽無罪の判決 となりたり而して事件は昨年十二月二十二日豫審終結の上田中裁判長川野邊陪席判事檢事立合ひの上公判に附せられしが數次の公判開廷中に證人或は參考人として喚問されしもの數十人の多きに達し途中にて假監をなす者ありて事件は又も一時中止となりて豫審に逆戻りとなり其の取調べを終へて更に

▽公判を開き たる次第にて此の事件に出廷し辯護の任に據りたるは大久保、安住、松木、赤尾、内田、淺倉、武智、木尾兄弟、小川、鄭求昌諸氏の内鮮人辯護士十一名の多數にて偶々事件進行中末森及び李恒九兩氏の被害者同士間に損害賠償の附帶私訴起り原告李恒九氏は松本辯護士を代理人とし末森氏に對し二萬五千二百圓の

▽支拂ひ方を 請求するに至り末森方は大久保辯護士を代理人として之れに應じ互に係爭するに至り一方閔明植以下の刑事被告事件も漸次進捗して此の程田中裁判長より閔明植は懲役三年(求刑四年)李明均は同じく二年(求刑二年)呉顧善は二年(求刑二年)末中尉は無罪(求刑懲役六箇月にて執行猶豫)の判決となり別の民事私訴事件は

▽原告李恒九 の請求は理由あり法律上二萬五千二百圓の金は末森より李恒九に支拂ふべき義務あるものと認められて原告の勝訴に歸したる判決となりたり右に就き被告人側は李明均のみは上訴權を放棄して服罪せしが閔明植、呉顧善の兩名は不服にて控訴し一方

▽私訴の判決 に對しては被告側なる末森に於て不服とし何れも京城覆審院に控訴を申立たり(をはり)

◆東宮殿下御動靜

東宮殿下には七日緯度觀測所、義親王宮御見學の後平泉村中尊寺へ成らせられたり(盛岡電報)

夢の樣です=石戸氏還る

浦鹽強盗事件の傷が癒って…… ◇チェックは各方面によく活動す

四月八日強盗に襲はれて重傷を負ひ危く一命を取止めたる浦鹽市マリステルスカヤの住自動車業石戸商會主石戸義一(四五)は最早其遭難の創もスッカリ癒ねたれば約一ヶ月半郷里美作にて靜養の爲め五日入港の鳳山丸にて

◆敦賀に 着せるが氏は語って曰く強盗事件から端無くも陸戰隊上陸の動機を作り私の犧牲に成つた事など今から追懷すると全く夢のやうです過激派とチエックの市街戰の當日ですか……私はウッカリ戸外に飛び出して又

◆一二の舞 を演じてはと思つて心配を懸けては申し譯が無いと思つて私はヂット二階に閉ぢ籠つて砲聲を愉快に聞いて居ました私の加害者は四人の中二人だけは既に檢擧されましたが殘り二人は未だ行方が知れず探偵局にては全く苦心して居るやうですところが私が今度歸鄕に際して鳳山丸出帆當日即ち三日朝

◆チエック と探偵とが一所に宅にやつて來て五人の嫌疑者を捕へたから是非共見に來て呉れと云ふので自動車を飛ばして見分に行きましたが確と解りませぬが其中に一人は私が見覺ねのある顏に能く似て居りましたので其旨を云つて置いて私は

◆歸つて 來ましたチエックは斯う云ふ方面に迄活動して居ましたには私も非常に感心しました(敦賀)

釜山 濃霧

連絡船入港せず

釜山港は七日午後五時より濃霧かゝり初め同七時頃は海陸共最も厚く市中の如き一町先の電燈は朧に見ゆたため七日夕發の新羅丸は港内に停泊し出港せず尚同夜著の壹岐丸は港外にあり入港せず列車は旅客の連絡を見ず北行す可し(七日午後十一時五分釜山特電)

◆多島海は魔の海

頻々たる汽船の遭難 航海業者は怖れてゐる◇

五六七月の多島海の航海ほど恐怖に充たされたものはあるまい此の恐ろしい潮流と霧とは多島海の恐るべき死神の使ひである、先月三日木浦沖合の長崎丸九日苦島の鹿港丸十一日珍島長竹水道の大運丸の坐礁に續き日九里島の吉羽丸の沈沒と此

▽魔の海 の物狂るはしい惡戯を見よ實際南朝鮮の岸を廻る多島海航路は日本有數の難航海として航海業者から恐れられて居るその廉内地と大連支那方面との重要航路に當つて居るので多島海を通る船舶は隨分多數なものだが

▽濃霧季 には船橋から船首さへ見定められぬ事が往々ある殆ど盲目に等しい航海を續けて此海には行きまぐるしい多數の島々の間に現はせぬ不規則な激流と海岡に……あつて兎もすると船の針路を誤らしめ穩航しつゝあつた島や暗礁に船を衝突せしめずには置かない航海者は濃霧の場合には必ず船の

▽速力を 緩める幾分なりとも危險を避けんとする用意なのだが多島海には例の海岡にさへ現はせぬ海流が渦卷いて居るので却つて速力を緩めた船は潮に押し流されて危險を增す速力を緩めなければ幾多の島嶼暗礁と何時衝突するかも分らぬと云つた進退兩難の魔の海である

汽車と自動車の衝突

重輕傷三名

七日午前零時半上野驛附近踏切りにて青森發貨物列車と吉原歸りの客を乘せたる自動車衝突し乘客三名は重輕傷を負ひたり(東京特電)

無線電信事件(大阪報)

既報鳳山丸無線電信局長の違反事件は原因舞鶴電信局との感情衝突にあるもの、如し(大阪特電)

首相夫人快癒

昨年十月來重症の腦膜炎に罹り一時危篤に瀕したる寺内首相夫人は其後漸次快方に向ひ昨今醫師より隨時轉地靜養をなすも差支なしとの許しを得る迄に快癒したる旨京城知邊の向々へ兩三日前消息ありたる由

太刀魚の鱗で人造眞珠

全南羅老島にて

近來太刀魚の鱗を原料として眞珠を製造することを發明されこの人造眞珠が一般裝飾用として多方面に歡迎されて居る而して其の原料が全南高興郡羅老島に豐富なる爲め大阪市の岡本富吉(五八)堀野稱吉(三五)の兩名が羅老島に來て六月九日より二十八日迄に三百三十貫(千六百五十圓)を採取し揮發油詰として大阪に送り出した之が製法の順序を聞くに先づ太刀魚の鱗を揮發油に浸し時々攪拌しては沈澱するを待ちて他の器に移して更に揮發油詰めとして荷造りするものなりと斯く粗製したるものが時價一匁五圓として取引されて居る而して目下内地を初め南洋方面に販路を擴張され一年の輸出額五十萬圓を下らぬ相であるそして是が原料採取地は羅老島が最も好適の地として目され近く大規模の採取に着手さるゝだらうとの事である

兼二浦浸水

浸水家屋六十 三菱製鐵所一部休止

七日夜來兼二浦方面には暴風雨襲來し今市街家屋六十戸浸水し爲に商業は休業同樣にて尚三菱製鐵所も一部事業を休みたり(兼二浦特電)

二名行方不明

慶北高靈郡茶山面にて四日午前十一時堤防決潰して朝鮮人男二名行方不明となれり

京城府の傳染病

パラチブス一日四十二人の恐ろしい記錄 まだ府内に三百五十二人のパラチブス患者がある ◇これから赤痢の時季になる

京城府衞生係の調査に據つて京城龍山方面の傳染病狀況を聞くに目下は各方面とも稍や鎭靜の狀態を呈して來たらしい丁度六月の一日から九日頃迄は腸チブスの患者が毎日三四人は發生して居るそれから十一日頃になつて稍下火の有樣を呈し十九日頃迄には再びずつと

◇患者數 を增加して二十四日には六人位の新患者を出したそれから漸次消滅に近づいて六月の三十日には一人の新患者も發生しなかつたのであつて現今に至る迄は其の經過至つて良好だと云ふ事である以上の狀況は腸チブスのみであつたがパラチブスに在つては客月の一日から十三日頃迄は

◇新患者數 は一高一低を示して進んで來て十三日に十四人の發生を見更に十五日に至り廿八人の新患者を出し一高一低裡に進行を續けて居たが二十八日には各警察署で病院内を照り出した結果居所で無き患者等を合して一日の内に四十三人と云ふ恐ろしい新患者發生數を示したそれから依然新患者は其

◇發生數 を減少するに至らず二十九日に二十八人三十日に二十人を示し漸次新患者發生數が減少するを得て現在に於ては經過至つて良好、新患者數が本町署管内に五十二人、鍾路署管内に二十七人、龍山分隊管内に二百七十七人合計

◇京龍間に三百五 十二人のパラチブス患者を殘して居る譯となつてる腸チブス患者は七月一日現在の調査に依れば本町署管内に三十五人鍾路署管内に二十九人、龍山分隊管内に十一人合計京龍間に七十五人を殘して居るのである、

◇六十九 名でパラチブス患者數が本年一月一日から五月三十一日迄には腸チブス患者九名合計七十八名を算するに過ぎなかつたのであるが季節の關係上六月から斯うして其の計數を增加したる事は亦已むを得ない災禍であるけれども一般府民の傳染病豫防警戒の程度奈何にも關聯してゐる事だから

◇注意が何より肝要であらう尚ほ是れからは赤痢の時季に這入る事だから便所其他の消毒は勿論雨期の事であるから各食料品に注意を加へねばならぬ尚ほ患者快復のものは其の便所の如きに對して少くとも以後二三週間は消毒藥品撒布が必要だと云ふことである

蚊に喰はれて死ぬ

不良少年を折檻した親の過失

佐賀縣杵島郡南有明村藤間松一(四五)の長男十七八(一七)は不良少年の群に入り六日夜も深夜歸宅せしより松一は大に怒り荒繩にて十七八の兩手と腹を縛し折檻したる上蚊に喰はせんとて其儘土間に捨置きたるに五時頃たゞならぬ悲鳴を揚げたるに驚き見たるに十七八は蚊の群の襲擊を受け全身腫上り居たるものなるが間も無く死亡せしより松一は傷害致死罪として拘引せられたり(佐賀電報)

八日の雨は全鮮に降るだらう

七日午後松花江下流に現はれたる低氣壓は八日朝黄海近沖に達し中心は七百五十粍以下に下りたるがこれが爲めに夜來西鮮地方は風雨を催し京城は七日午後六時以降八日午前六時迄に五十粍(五分に九分強)の降雨ありたり該低氣壓は黄海道より上陸し元山附近を通過して日本海に出づる[illegible]如く[illegible]

運動界

▲鮮銀善戰す

鮮銀對法政野球仕合は七日午前十時より京中グラウンドにて開催せるが此日遠征軍は正捕手植田をプレートに立たしめ武藤主將以下陣容を整へ一層の堅を加へしも鮮銀の守備亦牢として容易に遠征軍の蹂躙を許さず法政軍來鮮以來殆んど疾風枯葉を捲くの如く大スコーアを殘して連戰京軍を一蹴し去りたるに獨り鮮銀軍が對等の仕合をなしたる健鬪振りは多とす可く戰の結果三對零にて敗れ遠征軍をして朝鮮を蹂躙せしめ了りたり

▲ダイヤモンド慘敗す

午前に於ける法政對鮮銀の緊張せる仕合の後を受けし相見わたる京城ダイヤモンド倶樂部對法政野球戰は七日午後二時より開催せしが惡戰苦鬪四點を容れたるも法政軍二十六點を容れて空前のダルヂームを演じたり

▲法政軍歸東

前後三日京城四チームと連戰し連勝の榮を携ひたる法政野球遠征軍一行は九日午後七時五十分發列車にて出發歸東の途に就くべし

讀者文藝(一等十五點…)

▲下句付『大相撲』

◎大相撲力士團扇の浪に浮く(一)　仁川本町日下部方　花屋生

▲行立にさす土俵際　京城　柴海

▲風雨の兆一呼吸　宮邊　豪月子

▲人氣の波を深くせ　洪城　一水

▲大鼓に揺ぐ山の刹　利川　沂先生

▲蹈いた許りで腕が鳴り　鳥致院　抜天生

灯とし坊

▲京城の洋畫家高木背水氏は鮮牛の金剛山寫生に出懸ける爲め不便とあつて今度九龍淵附近に畫室を建てた相だ▲背水氏の金剛山研究は誠に結構だが更に面白いのは[illegible]定評があるが[illegible]同時に山中の名勝々々に自費を投じて建札を建てその名勝の名や由來を記して探勝者の便に供した事である▲これは確かに好い思ひ付きで所轄郡廳を始め憲兵隊警察あたりでも感謝してゐるとは尤も千萬▲昌慶苑動物園では今度大郎動物園に小猿を二匹ばかり寄贈した既に今頃は大郎で頻りに愛嬌を振撒いてゐる筈

◎阿部讓氏の葬儀

八日午前八時龍山前發

[illegible]

商況

兵庫期米特電

八日前場一節　當限　二十六圓九十七錢　中限　一　先限　二十四圓三十九錢

大阪株式特電

銘柄	拂込額	六日後場
宇治川水	[illegible]	[illegible]
京阪電鐵	[illegible]	[illegible]
東洋紡績	[illegible]	[illegible]
合同紡績	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
東洋製糖	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
堂島米穀	[illegible]	[illegible]
東京株式	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

限月	前場
七月限	三三六、九〇
八月限	三三八、四五〇
九月限	三三七、九五
十月限	三三七、九〇〇
十一月限	三三六、六〇〇
十二月限	三三五、一〇〇

大阪期米特電

▲立會停止

下關期米特電

雜報

◎三品伸惱む(大阪)

小高く後場引値よし

約五六圓方下押

現物綿布は三銘共に十一圓十錢の入電にて比較的堅實の成行きなり

◎正米依然強し

期米界の狂瀾

怒濤も至極平靜に

看過されつゝあり

依然頑強を極め

一二十錢高

見當にて

高値の儘を持合ひ居れり

◎內地製粉下押

◎空瓶氣弛む

下關相場

▲朝鮮一等白米 廿九圓九十錢　▲同 廿九圓九十錢　▲同 仁川三十錢　▲金劍大豆 十七圓六十五錢　▲元山大豆 十七圓四十錢　▲同 十八圓四十錢　▲同 十八圓五十錢

◎砂糖界の苦境

失ひ豪むらざるは多少の損

市價維持に

市中相場の場協定をなすに至るや

燐寸は持合ひ

黃燐は安全の獨擅

洋酒好賣行

各地商況

南大門廻穀

仁川正米

釜山物市場

生魚市場

▲八日前場

仁川期米

大暴落

十一錢安に寄付

十五錢と大暴落

大混戰裡に慘澹たる大暴落

前場の立會を休會する旨揭示

先十八錢安

四十錢安

四十四錢安

先限も休會

▲期米大暴落

三圓五十一錢

以つて以後停止

十扇瓦解し二十

一圓十五錢と急轉直下の大暴落

市場雜觀

大阪七節四圓十錢迄反撥

止は三圓七十二錢

至六圓切の大下納

仁川正米より二圓內外の下納なる大割安觀

◎八十錢切に大暴落

十一錢安に寄付直ちに寄付直

追證整理の上立會を見るに至らん

聲每に低落し形勢忽ち一變

形勢は遂に危惡

處分的投物輻輳

停止中の當中限

大影響

立會休止

仁川米豆取引所

八日の九月限

食料品卸相場

仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎

仁川米豆取引所仲買人 齋藤榮之助

仁川米豆取引所仲買人 唐澤正次郎

仁川米豆取引所仲買人 大五仲買店

…六十三錢こ更に一段の崩れを報せ…の管理未了の爲め後に立會の運びに至らず引續き後場も休會せり（大阪）

●兵庫期米暴落

●大邱の戸口 六月末日現在の大邱戸口左の如し（大邱）

[illegible]

●亂麻の如き國境の無秩序に乘じて盛んに行はるゝ鮮支人の密輸と密造

頃日露支國境地方を視察したる陸…落談によれば東寧縣三岔口は支那軍隊五六百名駐屯し劍光朝影參差として警備物々しく同地より直ちに綏芬河の一流を介して露領なるポルタフカには目下反過激派軍集中されおれるが陣容を張り意氣衝天の概あり之れに對して同地こ約二里餘なるコンスタンチーノフスキーには過激派軍駐屯し兩軍睨み合ひで何日衝突するやも知れざる形勢にて殺氣張り人心恟々たりポルタフカにある反過激派軍は約二千名の勢にて機關砲を備へ兵裝も可なり整頓し居れり然るにコンスタンチーノフスキーに對陣する過激派軍は正規に節度なく兵裝區々にて勞働服其儘の兵もあり給與もまた反過激派軍に比して薄しこする點より夜陰に乘じて反過激派軍に投ずるもの多く

◇◇形勢反過激派軍に利◇◇なる觀ありされご過激派軍は背後にニコリスクを控へ同地この聯絡を有し居れば總ての補給に苦しまず兩々相對して戰機は一髮の間に迫り頗る物騷なり斯の如きを以て三岔口よりニコリスクに至る街道は全然交通を絶つに至れるが同地方の現狀に乘じ密輸出入は盛んに行はれ露國稅關の如き取締るに途なく擧藥の密にあれば狡猾なる支那人及び朝鮮人は煙草の密輸出を企て巧に奇利を博しつゝあり而して亦罌粟の栽培は支那領に於てこそ惡も僞之れを禁止し取締嚴なりこ雖も露領は

◇◇頓著なく罌粟の栽培◇◇行はれ此點全く別天地の觀あり元來露領に於ける旺盛なる罌粟の栽培は露支兩國の間に某交換條件締結せられ其以來露國は絶體に之を禁止せるなるが混沌たる露國の現狀は取締るに由なく本年同地方の農民は平氣にて栽培し露國人支那人朝鮮人通じて栽培に手を下さゞるものなきより此阿片を目標こする支鮮人は三岔口に集ひ阿片買の豫約盛んなりこいふ（間島）

●破竹の勢を以て進めるチエツク 將に悉多を占領せんとす 過激派軍赤色軍と共に引揚ぐ

哈府よりの報道によるにチタ市附近に於て二個のチエツク軍隊は鐵道及び市街を占領せんこし過激派軍こ激戰を演じつゝあるが、過激派軍はダウリヤ戰線に於ける一萬五千人に達する赤色軍をチタに引き揚げたりチエツク軍は銃砲充分ならざるも好く奮戰したり（哈爾賓）

●過激軍益々不利

ボグラニーチナヤに於けるカルイムコフ軍司令部よりの報に曰くデイツリツツ將軍指揮下のチエツク軍は戰鬪の後ニコリスクウスリースクを占領せる爲め

◆◆過激派軍は大狼狽◆◆を來し、烏蘇里鐵道によりハバロフスクに向ひたるが尚ほグロデコウオ及びニコリスク、ウスリースク間に殘留するものあり、チエツク軍は近距離進擊の希望ありたるも本日カルイムコフ軍隊こ共に速く進擊を爲すべしこ（哈爾賓）

●餓死する者日に百名

反過激派により樹立せられたる西伯利政府はレニン政府の滅亡せざる限り歐露に向け西伯利より物資の供給を爲すを拒絶したるが夫れが爲め今や中部露西亞は刻々に饑餓に瀕し日々百名近き餓死者を出しつゝありこ（哈爾賓）

●占領されしグロデコウオ

グロデコウオより受け取りたるカルイムコフ將軍占領の電報に依るにカルイムコフ軍は五月午前八時グロデコウオ戰線に於ける過激派軍を攻擊し遂にグロデコウオ停車場を占領したり（哈爾賓）

●今年は意外な豐作だご喜ぶ 平南各地にて

平南各郡に於ける農況調査の爲め出張中なりしが土肥平南道技手の談に據れば中和、龍岡、江西三郡に於ける農況は頗る良好にて談話大要左の如し（平壤）

◆麥作 大小麥の作況は豫想に反し豐作を見るに至れり今是等の狀況を聞くに播季の乾燥によりて一時發育不良なりし麥類は四月下旬以降に於て時々降雨ありし爲め生育回復し草丈分蘖共に昨年に比し一般に旺盛なりしも小麥作に對しては降雨の時期稍晩きに失したるひあり收量見込こしては大麥は昨年の實收こ比し約六割增の豫想にして小麥にありては昨年の實收に比し三割增收の見込なり目下刈取期に繁忙を極め居れり

◆棉花 は播種當時一時雨澤の乏しかりしを以て發芽の如何を相當憂慮しつゝありしが其後相當の降雨ありし爲發芽容易にして生育順調既に二回の除草及び中耕間引を終へ草丈四寸內外に達し病蟲の被害を認めず成育頗る良好なり而して生長の殊に發達せるは江西郡の海岸地方にして龍岡郡之に亞ぎ中和郡の鮮棉地方は其生育稍遲延せり而して右三郡に於ける本年棉作付面積は五千七百六十三町こして昨年の作付面積三千八百六十二町歩に比し百九十町歩を增加せり

◆粟作 は播種當時の天候不良にして發芽後時々降雨ありしに依り生育極めて良好にして目下草丈一尺五寸內外に伸長し成績益々良好

◆其他 一般の農作物も生育佳良にして豐作增收の見込なりこ

●慶南經濟通信

◆一般經濟事情 六月中の慶南道に於ける經濟狀態は月始め米價の奔騰により地方筋の持越米買以降は農繁季節こ滿資金豫想の如くありし結果金融の小繁を見たるも狀態の裡に越月せり、例年なれば鮮農等は手持米も賣盡し所有土地を提供し收穫時季迄融通をなすの例なるが本年は斯る傾向絶無なる故彼等の經濟狀態は數年來稀有の良好なる如しこ栖原支店長語る

◆陸地棉作況 慶南の陸地棉成育は天候順良の爲め例年より發芽約十日早く後の成育頗る良好なり棉作者十二萬七千三百五十九戸にて作付一萬九千四百七十六町步なり

◆晉州製叺組合 晉州製叺組合は昨年度製産高は三萬六千五百枚にして現在機械臺數六百臺なるが資金二千五百五十圓に對し近々總會を開催し年一割の配當をなす由（晉州）

●大邱の貿易額

大邱六月中の輸移出入高は輸移出十七萬二千八十六圓輸移入四十三萬五千百六十圓にして之を前月に對比するときは輸移出額に於て一萬二千三百五十八圓か增加し又輸移入額に於ては二萬一千百三十四圓の減少を示せり、而して輸移出品の主なるを擧ぐれば棉花の十二萬三千二十圓を最とし煙草千三百二十四圓之に次ぎ豆類の四百圓米の三百九十四圓其の他の雜品四萬六千四百八十六圓の順序にして又た輸移入品の主なるものは綿織物及同附屬品十八萬千八百五十八圓綿絲二萬四千八百二十九圓生金巾及生シーチング二萬二千二百十八圓日本木棉一萬六千二百六十二圓砂糖、石油、酒類、燒酎、小麥粉、果實及種子、硝子、陶器、麻布、金巾、天竺布、毛織物、靴及履物、洋紙、其他紙類、文具類、銅鐵、錫、藥品、諸器械類、陶磁器、木材及板、叺繩及蓆、小包郵便物其他の雜品なりとす（大邱）

●輕鐵の運輸成績

六月中朝鮮輕鐵大邱琴湖間運輸成績は客車收入三千二百五圓九十八錢貨車收入三百二圓三十六錢計三千五百八圓三十四錢にして前月に比し客貨車收入多少の增加を示せり各驛別成績左の如し（大邱）

驛名	客車收入	貨車收入	計
大邱	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東村	[illegible]	[illegible]	[illegible]
半夜月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
淸泉	[illegible]	[illegible]	[illegible]
河陽	[illegible]	[illegible]	[illegible]
琴湖	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

●清州と金融組合

今回忠清北道管內に十五箇所の金融組合新設さるべく差當り四箇所を新設する筈にて目下詮議中なるが指定面たる清州の如き眞先に設立を見るべく清州經濟界のため福音こ謂ふべし因に一口の出資額は五十圓にて十回の拂込こし手形割引預金其他銀行の代理業務の取扱をなす筈（清州）

●解散と別配當

慶尙農工銀行本年上半期株主配當率は前期同樣年八分に決定せるが近く同行の解散に就ては拂込金額一割の特別配當をなすべし（大邱）

●山口氏と清州電氣事業 清州電氣は其後整理を見んこする迄に至りし一時躊躇を見たるが右に對し今後事實上の出資者たる京城の山口太兵衞氏は清州に赴き今後の經營方針に關し一般の意嚮を叩くべし銀杏樓に官民有志六十餘名を招待したり（清州）

●迎日水利の近況 慶尙北道迎日水利組合にては右岸に据付けある機械の礎革破損したる爲め新に註文中の處今回神戸より幅十二吋長さ六十尺價額六百圓の現品到着したるを以て取り換へを了したる由尙同組合の蒙利區域內は四日迄に四百町歩の移植を了へたる由而して今回の降雨に遲くも十日迄に一千町歩全部の移植を畢るべき見込なりこ（大邱）

●大邱分隊移築 既報大邱憲兵分隊の新築工事は過般龍山に於て入札の結果大邱の請負業者佐野源藏氏に五千五百圓にて落札し竣工期日は來る十月十五日にて八日より着手せり（大邱）

●鐵道倉庫收入 六月中の大邱線倉庫の入出庫貨物數量及倉庫の收入は入庫（三〇〇噸）出庫（四二八噸）收入（二百九十二圓三十一錢）なり（大邱）

●水害跡復舊

◆大邱憲兵分隊の管內◆ 慶北管內に於る過般の水害につき大邱憲兵分隊の調査によれば管內に於ては二名の鮮人死者こ二軒の倒壞家屋を出し去る五日を以て凡て舊態に復したるも洛東江沿岸なる玄風、論工の二面は一時江水三丈以上に達したるを以て其後漸次減水したるも未だ交通は杜絶し居れりこ（大邱）

●大邱府協議會員 缺員中の大邱府協議會員は李章雨氏任命さる（大邱）

●北鮮の海に鮪 珍らしき十一年目の大漁

清津沿海には六月下旬より鮪の漁獲あり僅々旬日間に百數十尾漁獲ありたるが元來北鮮方面には鮪の漁獲甚だ稀にして殆んご棲息し居らざるものこせられありしが今回斯る多數の漁獲ありたるは奇異の現象こせられあるが今より十一年前も清津近海に於て數千尾の鮪漁獲ありたりこ云へば絶對に棲息し居らざるべく漁撈を改良せば相當漁獲あるべき見込みなり（清津）

京日愛讀者に

◆本社は地方在住讀者諸君の愛顧に酬ゆる爲め趣向を凝らし面白くつて爲になる第一回地方巡廻お伽講演を南鮮各地に開會し多大の歡迎を受けました依て今回は更に

◆西鮮及滿洲の一部◆各地に開催する事こなりました、少年少女達は申すに及ばず何方でもお誘ひ合はされて聽きに入らつて下さい入場料は無料にて無論有志の金品寄贈は斷じて申受けません

第二回巡廻お伽講演

酬ゆる爲め

◆巡廻お伽講演日割

◆開城 八日 自午後三時至午後五時
◆新幕 九日 自午前十時至正午
◆瑞興 十日 同
◆沙里院 十一日 同
◆黃州 十二日 同
◆兼二浦 十三日 同
◆中和 十四日 同
◆鎭南浦 十五日 同
◆平壤 十六日 自午後二時至午後三時
◆新安州 十七日 自午前十時至正午
◆定州 十八日 同
◆宣川 十九日 同
◆義州 廿日 同
◆安東縣 廿一日 同

京城日報社

●平壤の貿易額

六月中に於ける平壤港貿易は輸移出二萬八千四百九十二圓、輸移入五十八萬七千四百四十二圓合計六十一萬五千九百二十四圓にして之を前月の輸移出入總計九十二萬三千二百六十圓に對比せば三十萬七千三百四十圓の減少を示し居れるが之が原因こしては六月は起業材料の輸送上著しく減退せしこ一面例年六七八の三箇月は商界閑散の時期なるこ手控へ等に因るものなり然れども本年上半期間に於ける貿易を見るに輸移出二十萬六百七十九圓、輸移入三百二十九萬三千百九十八圓、合計三百四十九萬三千八百七十七圓にして昨年同期に比し百三十三萬餘圓を增加し大正五年度一箇年の三百六十八萬圓に稍近く同四年度に比し半期間に於て一箇年の總額より超過するこご五十三萬三千八百餘圓に達し居れり之等に徵すれば如何に平壤貿易の著しく膨脹せしかを窺知するに足るべく現時の趨勢より推せば本年度は優に八百萬圓を超過すべしこ觀測さる

●被害尠し

慶南にては未だ各地よりの詳報なきも晉州附近は何等の損害なく陝川、居昌方面の被害も大なるが如く農作物には被害僅少なりこ（晉州）

●書記長用向 （將軍大邱商業會議所書記長）は大邱中學設置問題陳情並に會議所聯合會出席、共進會大邱協贊會寄附金等の用務を帶び五日京城に赴く（大邱）

●父母を亡へる十歳の少女が

◆何處を的てこもなく汽車から汽車の乘り換へ◆

七月四日午後十時非分仁川行の終列車が龍山を今發車しようこする頃一人の見窄らしい十歳位の少女が怖々こ列車の中に這入つて來た古ぼけた飛白の單衣に帶さへ無造作に乘客の女達の間に交つて居たさうして粗末な風呂敷包を抱へてゐるのは何だか仔細がありさうに見ゆる軈て列車は永登浦を過ぐるこ車掌は檢札に廻つて來て客車の入口から切符を見ますこ聲を掛けた、するこ先の少女は何を思つたか

◇◇フイこ直便所の中◇◇へ這入つて容易に出て來ない恰も自分の座席の檢札を終へて車掌が行き過ぎる頃件の少女は席に歸つた之を見た廻りの乘客は必ず此の小女に仔細があるこ見て取つたそれこなく訊き糺すこ只淚を泄へ俯伏して語らない切符は持つてるかこ訊くこ輕く『無い』こ答へて

◇◇淚を拭ふ許りである◇◇斯くてあるべきでないから漸くの事に騙し賺し事の仔細を訊いて見るこ彼女の物語りは悲しかつた、此の少女は高年綺喜代子こ云つて今歳漸く十歳である、今日しも大邱から何處を的てこもなく北行の汽車に乘り込んで夜龍山に著いたが更に行き處が分らないので再び

◇◇何處へ行くこもなく◇◇只此の汽車に乘り込んだそして今朝からまだ一椀のお飯も食ず一滴の水も飲まず頼る邊なく汽車に身を委ねては只行く處に行くべしこ的てもなく彷徨ひ出たのだこ判明した、まア何こ不憫な乙女だらうこ車內の人々は何れも同情の眸みを此の少女へ集めて色々こ訊き糺すのであつた此の喜代子は大邱に生れたのであるが其の原籍は福岡縣筑紫郡である

◇◇兩親は久しく大邱に◇◇住んでゐたが喜代子が學校に行く樣になるこ內地の學校が小供の爲めに好いこ云ふので喜代子は一人鄕里に歸る事こなつた然るに大邱に居る兩親は一年前に不圖した病氣で喜代子を內地に殘したまゝ黃泉の旅に急いだので或る日喜代子は兩親の遺骨を受取りに大邱の伯母の家にこ來た然し乍ら永久に大邱に止まる事も出來ず學校の關係があるので

◇◇兩親の遺骨を抱へて◇◇一先づ內地に歸つたが扨て孤兒こなるこ行く先知れず人の厄介にもなる譯に行かず內地の親戚が相談の上喜代子は再び大邱の伯母の家へ送らるゝ事こなり六月十二日切符を買つて貰つて父母の靈の在ます朝鮮へこ一人淋しい旅に上つたのである處が

◇◇天は何處まで此可憐◇◇な少女を虐ひするであらうか彼女か九州線の列車に搖られて門司の近くに來るこ一人の優しい婦人が彼女を迎へて何呉れこなく親切に世話を與へ果ては切符其他の物も小供が持つてるては危ないからこ

◇◇甘く騙して其の女は◇◇盜られた喜代子は途方に暮て棧橋に泣いてゐる時高麗丸の事務長に救はれて兎に角釜山迄は來る事が出來たそして釜山からは驛長助役の親切で十四日の午後辛うじて大邱に著くは著いたが

◇◇伯母もごうせ厄介者◇◇の喜代子に對するのであるから日頃の扱も辛いので子供心にも居堪らず彼女は遂に大邱驛からソツこ北行の汽車に

◇◇乘込んで彷徨ひ出て◇◇再び龍山驛から仁川の終列車に何處へ行くこも知らず乘込んだのであつたが恰も此處に乘り合はした仁川本町の遠藤氏は痛く同情し自分にも娘が無いのを幸ひ自分の家に連れ歸つて勞はつてゐるが果して此の可憐な少女の運命はごうなり行く事やら（仁川）

●開城より

◆汽車通學不能 本月一日より汽車時間改正の結果從來午後四時十分南大門發同七時九分開城驛著なる混合列車は午後一時五十分南大門發こなりしため開城より京城に通學したる數十名の學生（中學校高等女學校高等普通學校等）及び長湍郡津山金村等よりの中等生及小學生は全部通學不可能こなり途方に暮居れり何こか其筋に於て相當の方法を講じたき者なり（開城）

●清州の大掃除 清州署に於ては水害後の臨時消毒大清潔を實施すべく七日より十日まで四日間各町內の清潔檢査をなす（清州）

●郡守の送別會 大田郡守より扶餘郡守に轉任したる金褵洙氏は大田在勤七年四ケ月餘に達し當地方に貢獻多かりしを以て大田地方の官民有志は盛大なる送別會を開催すべく協議中也（大田）

張三李四

◇◇往來で肝臟の破裂◇◇大邱大和町居住雀道三いふ者は大邱七星町西方鐵道踏切を通行中肝臟破裂して咯血の上即死せるは屍體は檢視の上遺族に引渡さる

◇◇車の上から攫はる◇◇清州本町四間田運送店にて得意先より運送方を依頼されし乾繭三十袋の中二袋（二百圓）を荷車に積置きし處何者にか窃取され訴へ出づ

◇◇幼兒水泳中に溺死◇◇清州無心川にて毎年夏游泳者の溺死多き例なるが本年の夏最先に溺死せし者は清州郡四州面鳳興里金光先四男俊遠（八）こいふ少年なり

●惡運盡きて 捕へられし兇賊

支那直隸省生れにて馬賊の親分たる財子兒こ任殿生（三）は今を距ること二十五年前吉林省にて兵丁こなり入營中仲間の惡能こ語らひて强盜團を組織し露國人を脅迫して一萬ルーブルを强奪せしを手初めに殺は强盜殺傷人質拉去等在らゆる惡を行ひたるが北後惡運盡きて諸所放浪の末苦力こまで成下り江口邊を徘徊しゐたるが此程八面城に出て藥を販はんこせし處を我官憲の爲に取押へられ四平街に押送の上支那官憲の手に引渡されたるが支那官憲は無論死刑を執行せらるべしこいへり（四平街）

●事務競技會 釜山局の新らしき試み

釜山郵便局にては七日の日曜を利用して第一回郵便競技會を開催したるが會場に假設南郵便局及び北郵便局を設けて左の各種に付き競技を爲したり（一）內地區分（二）朝鮮區分（三）外國郵便（四）日附印押捺（五）行囊締切（六）郵便取扱（七）揭算（八）讀上算而して是等區分競技は千數百通の擬信票に依りて演ぜられたるが非被捕なる事は驚く可きものにして特に郵便物の取集め及び差立等の如きは一入來賓の目を瞠かし最も盛會裡に好成績を以て閉會したり（釜山）

東京大相撲

木戸割引券

京城日報御愛讀者にして此割引券御持參の御方は卅錢の木戸料を廿錢に割引致候

（元山興行中）

後援 京城日報社

各地の金融

◆大田（漢湖農銀支店）

六月は農繁期に際會せし事とて毎市日の入出少なく物品の賣行又多からず、唯米價は關稅令の爲め期米の暴騰せなり現米又一時に下落の徵候を呈したりしが其後又々騰貴し南つて移出組合に多く又茶繭は稀有の高價なりし結果之れが買入資本の需用を喚起し農民の懷に入るべき利益は勘からざるものありしも其他の移出入品は取引殆んご皆無こ云ふべく金融は一般に緩慢なりき、七月に入らば麥買入れこして多少資金の需用喚起を見るべし六月は麥の刈入稻の移植の爲め農民一般に多忙を極め且つ農家一般に放資すべき貨物乏しく一時轉の出市は可なりに多かりしも是又一時の現象に過ぎず、旁々貨物の出入は少なく商況一般に閑散なり物價は一般に內地相場に支配せられ米穀等の外殆ご月下旬に適度の降雨あり稻の移植には前月已大過なし特殊事項こしては六なく本秋の農作を豫期して人氣は甚だ良好なり漢湖農工銀行大田支店の報告は一二五六、六〇五圓（入高）一、二六五、九二六圓（出高）二二一、七二一圓（殘金）三二四、六二七圓（貸出）

りん病 消渇で困る方切手三錢送れ多年の慢性も自宅にて人に知れず秘密に治す妙藥を人助けに無代で教へ致し升 名古屋南かじや町 武藤龜吉

人力 精米麥機

運轉安樂精白迅速 信用ある方長期月賦貸附 試驗を乞ふ 詳細圖入說明書は申込次第送呈 製造元 大阪西區市岡町

ヨミオン香水 フケトリ カユミ止

東京塚谷出張店 京城本町

山縣五十雄 村上唯吉 共著 富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢 東京本郷 振替三〇〇 京日代理部

金銀賞牌廿四個受領

タトへ億万長者でも 健康は絶對に金では買へぬ 只毎食前一杯づゝの美味滋養 蜂印香竄葡萄酒は 味つて見て下さい メキ〳〵元氣健康を增進す 美味＝滋養＝濃厚 全く他品に卓越す

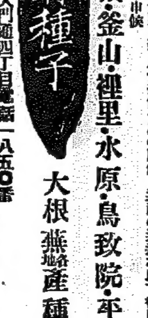
東京本町 近藤利兵衛

眼科專門 金井眼科醫院 京城若草町（總督部通り若草町新道路中程）電話一五五六 新築落成◉入院隨意◉日曜祭日午前中

見本液無料進呈 假令ば 上呈イブパイ 紙名記入送料二錢
●東京醫藥學會新發見風味液●大正四年政府認可公表●何の苦もなく樂みながら禁煙ができ味も煙草以上●其上一滴一日五厘で事が足り衛生的一擧兩得也●醫師藥劑師內外紳士數百千名禁煙實驗證明付高評如湧●ニセ物あり 商標に御注意 風味液六十錢パイプ水牛製四十錢 同特製七十錢象牙製九十錢サック三十錢送料八錢海外三十錢（內外特約店を募る）
禁煙パイプ 東京神田猿樂町三の四 振替東京參萬三千七番 一貫社專賣

京城本町一丁目江戸川横 岡本齒科醫院

肥料 過燐酸、硫酸アンモニヤ、智利硝石 鰊メ粕、油粕、大豆粕 稻作配合肥料、果樹用、苗圃用、棉花用、煙草用、其他各種取揃 販賣特色 安價販賣の目的を以て左記各驛に配置致し居候御注文の際は近驛より實著見積販價提供致し販賣の迅速と送品の迅速を以て御用命に應じ申候 配置驛・京城・釜山・裡里・水原・鳥致院・平壤

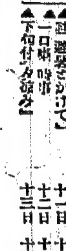


大根 蕪 朝鮮產種 京城南大門通四丁目 電話一八五〇番 大阪產業株式會社京城肥料部 ●振替は殿號

內科 小兒科 入院隨意 小林醫院 院長 醫學士 小林千壽 副院長 東北醫學士 戸川武 永登浦分院長 醫師 久保廣次 京城旭町一丁目（電話九六二番）

帽子原料附屬品商 江[illegible]商店 大阪高麗橋東詰 電話東二六一・二三六六三

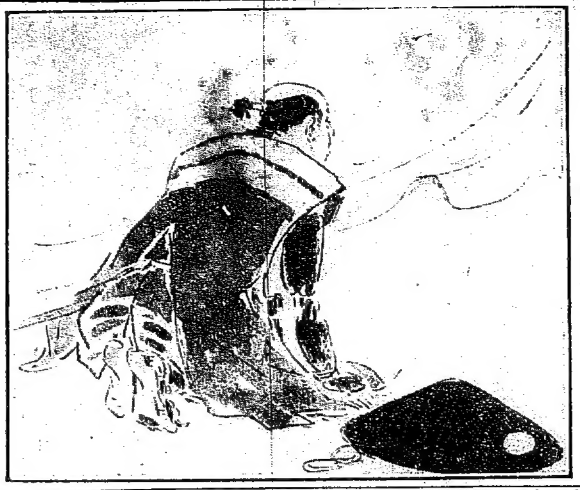
特效 神經衰弱 ユーキリン 榮養ヲ增進シ神經衰耗ヲ補フヲ以テ神經衰弱、陰萎、榮養不良、結核諸症、腺病、重病回復期ニ適ス 本品ハ帝國大學教授本邦蛋白化學ノ泰斗タル鈴木博士ノ創製ニ係ル吸收性同化性ノ理想的有機性燐劑ナリ 說明書進呈ス 散劑 二五〇瓦入 金七拾五錢 錠劑 百錠入 金八拾錢 各地有名藥店ニテ販賣ス 東京室町 三共株式會社



塚原卜傳

第百三十席　悟道軒圓玉口演

佐竹彈正左衛門熊吉を傍近く召して其面を見るこ一癖有氣なる逞しき器量でありますから 彈『其方は何國の生れで本名は何こ申すか』熊『ヘエ私は伊豆の下田生れでございまして以前は田舍角力を取つて居りました荒鷲の熊五郎こ申しますが、病氣に罹つて力が落ちまして今では小間物商賣をいたして居ります』彈『フム小松屋四郎吉こ申すか、城内へは何日から出入をして居る』吉沼が『五『つい半月ばかり前でございますが斯う々々でございます』こ大船屋德兵衛の入口で城内へ商ひに入るこから山狩の供をしたまでの事を申上げるこ彈正笑つて『左樣か、面白い男だ、昔樣侍るの力がある者を商人に致して置くは惜しい事ぢや、武家奉公がしたいこあらば身が召抱へて取らせる何うぢや』熊『有難き仕合せに存じまする、御召使ひ下されば此上の喜びはございません』彈『ムウ、用ひ方に依つては一廉の用に立つ者ぢや、五左衛門宜きに計らへ』五左衛門『畏まりました』茲で改めて新地五十石士分お取立こいふ事になり、小間物屋四郎吉改めて小松四郎兵衛こ名乗り、御馬役に召出される事になりました、熊吉の喜びは申すまでもない、先づ之れで彈正の側にも出入りが出來る其動靜を窺ふ便宜も好いこ心中大に喜びました、さて山狩りも了り、其夜は山中に明して翌日下山、眞壁へ歸城に及ぶ、サア城内は固より城下の隅々まで大層な評判、小松屋四郎吉が筑波の山狩りで大猪を打殺したこいつてワイワイ騷ぐ、大船屋德兵衛之を聞いて驚いた、大變な事をする男だ、人は見掛に寄らぬもの、高が田舍相撲で其れほごの大力があらうこは思はなかつたが、何しろ十分に御取立になつたのは大した出世だこ喜んで居る處へ熊吉立派な衣服に大小を拜領して大手を振つて入つて來た 熊『ヤア德兵衛在宅であるか、拙者は小松四郎兵衛こ申す者、改めて見參せん』こ怒鳴りながら上つて來た 德兵衛吃驚して 德『ヤア小松さんぢやアないか冷しちやア不可ない吃驚した』熊『アハヽヽ、德兵衛さん喜んで下さいまア私も今度は出世をしました』德『イヤ其事だが今も噂をして居た處だまア何にしても大した功名をなすつて私も共に喜ばしい』熊『私も今日から五十石の侍分彈正樣のお馬廻りを勤めるやうになりました之も皆んな貴方のお蔭で……』德『結構だ、お前さんが言當てなすつた、まア本意が叶つて何よりだ』こ之から酒肴を澤山並べて祝ひの酒宴をいたし、德兵衛も喜びまして祝ふ、さて熊吉小松四郎兵衛こなつて翌日から城中に小屋を貰つて住むやうになり彈正へ毎日日通りをしては役を勤めて居る、彈正も浪人を數多召抱へて居る位るで用心嚴重にして居るのは仇を持つ身であるから小太郎を恐る、ため此四郎兵衛の怪力を頼もしく思ふ所から何か事ある時に使ふつもりで五十石で召出しましたが、之れが小太郎の腹心秋山伴作の弟であるこは神ならぬ彈正少しも知らぬ、其中四郎兵衛如才なく彈正に取入りまして忽ちの中に側近く出入りをするやうになり日夜好機を窺つて居りますこ茲に幸ひの事が出來たこいふのは佐竹彈正の子息に阿蘇丸こいふ子がある、當年十六歳になり元服して長一郎官胤こいふ、佐竹義宣公こ同年である處から豫て義宣を廢して此官胤を以て水戸の城主八十萬石の主こしたいこいふ陰謀を企て、居ります、其長一郎官胤に此の頃奥州の伊達大膳大夫政宗の一族伊達兵庫頭の娘八重姫を嫁に貰ふこここに約束が整ひ來る八月初旬輿入れがある、其上にて親子伊達家の招待にて奥州松島へ遊覽のため出發するこいふここに相成りましたが、之れこそ絶好の機會。



慶州より

佐々木生（慶州佛國寺こ石窟庵）

二日午前十時頃には天全く晴たが空氣は未だ重く風も濕氣を帶んで未だ降り足らぬ梅雨の空である然し今日は降つても照つても萬難を排して佛國寺行きを決行する覺悟であつた事を天も嘉したのかこ一行は此天候に雀躍りして出發した慶州南門外に出れば孤風臺附近より六村時代の陵墓其他時代こ形状々の數多き陵墓の間を縫うて南山を右手に望み德陵、神武陵、神文陵、孝昭陵、四天王寺址、德陵こ漸次左手に取りて辰巳の方角に進むのである昔神功皇后新羅を征し給ひし時新羅王が南面して皇后に向ひ阿利那禮河東流すこ雖も此盟を變へじこ契うた、其阿利那禮河は今の南川であらうこいふ事だが其南川は佛國寺の山から出で南山の東麓を流れ慶州に到るのである 輕便鐵道佛國寺線は慶州を出れば此街道の左手に傍うて敷設さるゝ事に成つて居るが凡ての古蹟は車窓に展望し得るであらう 一行は午後二時佛國寺に着き直樣先づ石窟庵を指して吐含山を登り始めた進むに從ひ途愈々急なれごも適所にベンチを設へ登山者大いに便なりで婦女子も之れが爲め登山し得るのである、右曲左折漸次に登れば佛國寺を眼下に見下ろし南川は展開せる青田蒼沱の裡に白布を晒せし如く蜿々こして流れ遙き峰々は大半に連亘し脚下の群峰は縱橫に走るもの、踞るもの、臥すもの、立つもの其壯觀思はず快哉を叫ばしめた、既にして山巓を背後に廻れば即ち石窟庵である途に見渡せば山脈の盡くる處便に日本海を遠望し得るは甘浦沖である石窟庵に到れば僧に迎へられて清泉湧き出づる處に先づ休憩して後堀扉を開いて貰つた

暦

七月十日　九星　舊六月三日　戊午　本命九紫　南　閉　友引

▲九紫● 突飛なる事の起る日新事見合はすべし 四方は吉 喧嘩南 ▲一白● 萬事慎重に計らるべし ▲二黒● 偏行は轉居開業入學名 弘探 蟠求 ▲三碧● 將運の日 職業婦人斡旋 吉 轉居行商入學名弘求 職組縁談入 ▲四緑● 穏健の日 組の和を計る節 萬吉 開業斡旋吉 女子の心せよ 立身を ▲五黄● 退位散財轉居出漁 偶良の日也 ▲六白● 奇怪の事不日新事手控ゆべし 一切のかけ事をなすず ▲七赤● 自惚の事有 日新事手控事は吉 婦人せわなしす勿 ▲八白● 變の日 轉居開業命件求職 萬吉

演藝案内

黄金館　電話二六三七・二三六六　天然色活動寫眞　七月五日より新寫眞提供 ▲新派劇『火玉』 ▲活劇『百萬弗の秘密』 ▲喜劇 ▲實寫 其他

有樂館　電話　早川演藝部直營　常設活動寫眞館　◎諷刺喜劇『自動車成金』 ◎其他

大正館　櫻井町　電話八七三　日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店　七月五日より名畫特別大興行　◎世界最大戰爭劇『國難』大雄篇　◎活劇『大尉の妻』 ◎正劇『チャプリン道具方』 ◎其他

浪花館　明治町二丁目　電話二六〇番　七月七日より開演　京阪落語研究會一行 ▲落語 ▲落語 ▲音曲 ▲大切 其他

壽館　京城本町　電話一〇五〇番　現代自然劇　新派演劇 一派

日本一　最上清酢　マルカン印

最上醬油　龍　ほまれ味噌　日本醬油株式會社　京城出張所　電話二四五番

▲流行燈袴▼　特價金拾圓也　●純毛にして新流行縞物四種　●世間ありふれたる内地製品にあらず

英國製『シワノヨラヌ』右非常の好評殘部僅少と相成候間至急御注文願上候　京城太平通り一丁目　京城日報社代理部　電話長六〇〇九番　振替京城三〇〇番

補血　強壯　高麗人參エキス　原大藥房　京城明治町一丁目　電話一九四八番　振替京城三七五三番

りん病

最上醬油　朝鮮仁川府　高杉醬油醸造場

賛化病院　京城明治町一丁目　電話二四四番　内科　小兒科　入院隨意　醫學博士 古城憲治　無料施療す 毎日五名を限り

大連燒酎　滿洲名産の高粱から此樣な甘ひ燒酎を醸造しだした事は竊に誇とする處です一瓶を御試し被下　大連燒酎製造所　九鬼榮助

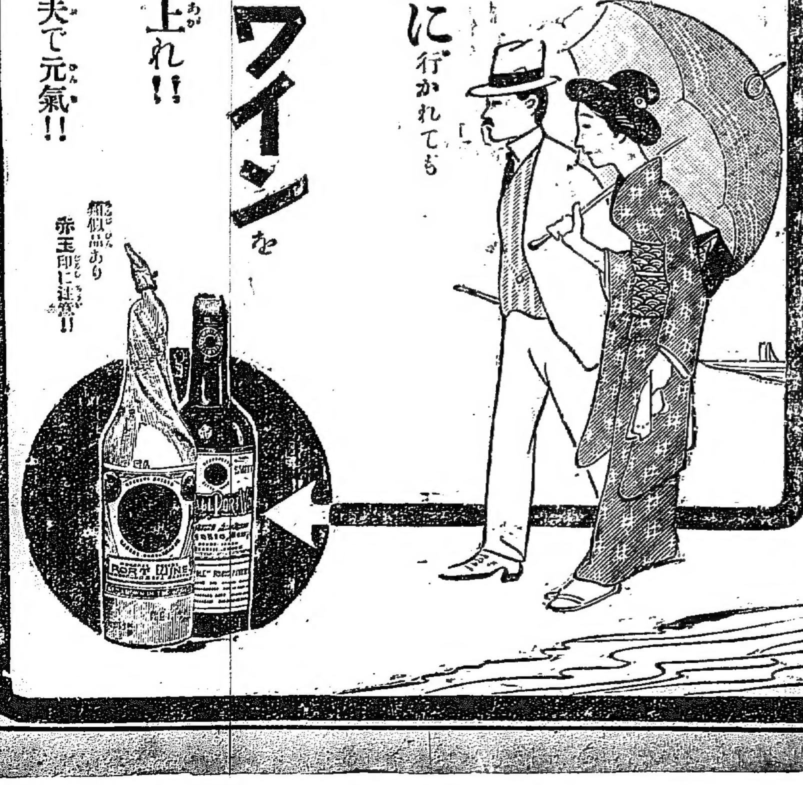
友助堂　京城南大門通一　電話二九七七番　振替一八九五番　金銀時計 眼鏡指環 各種取揃居り候 代金月掛に應じ申候

朝鮮法制研究會　縮刷　朝鮮法規提要　▲ポケット形一千餘頁 ▲總クロース函入美本 ▲定價二圓二十錢 送料八錢 ▲特價一圓八十錢
（内容）憲法、法例　官吏　賞勲、恩給　文書、附印鑑　地方行政　社寺、宗教　兵事　教育　衛生、警察　財務　土地、林野、河川　法務　産業　交通、電氣
賣捌所　京城太平通　京城日報社代理部　電話長六〇〇九番　振替京城三〇〇番

比較は最良の撰擇法なり!!　サクラ正宗　山邑京城支店　京城明治町二丁目　電話八四一・九四五　振替京城五七番

内科　胃腸病　石川醫院

避暑に海水浴に行かれても　家庭圓滿に　七大醫學博士の賞賛と證明ある美味滋養葡萄酒の　赤玉ポートワインを　朝夕一杯づゝ召上れ!!　夏瘦せず体は益々丈夫で元氣!!　類似品あり　赤玉印に注意!!



新舊對照　朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽　越智唯七編纂
大正七年一月一日現在　正誤表附總クロース金文字入菊版千百五十頁定價金三圓
司法大臣 松室致閣下題字　京城地方法院所屬辯護士 法學士 加古貞太郎先生序文　前韓國財政顧問附財務官 小笠原寛先生序文
税十八錢本書は府郡廢合の整理と既に結了したる土地調査局の調査により確定したる朝鮮全道の行政區域の新舊を對照し錯綜混雜せる沿革を明にしたるもの
道、府、郡、島廳及面事務所の所在地を示し、末尾に朝鮮の沿革、日鮮、清、西歷の詳細なる對照年號を示し管區數、人口戸數、道路里數、各道の廣袤交通、產物名稱舊跡溫泉其他の概況を掲げ
本書は官廳執務上を初め政治家、實業家、學者、交通、產業其の他苟も朝鮮に關係を有し朝鮮に精通せむとする士の須臾も缺くへからさるの必携書なり
發賣元　京城日報社代理部　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番

"PINE"　パイン万年筆　愈々書き具合能しとの定評を得たる　萬年筆の眞價はパインを除き他に知るべからず
特許既願防破裝置附　繰出式萬年筆 金六圓八十錢　インキ止式短軸 金四圓九十錢　インキ止式實用向 金三圓八十錢　パイン學生號 金二圓八十錢　ビジネスペン（事務用） 金一圓九十五錢
不具合又自然破損は交換快諾又は無料修繕

汽車
京釜線（南行）　同（北行）　京釜・安奉連絡　湖南線（南行）　同（北行）　京義線（北行）　同（南行）　京仁線（仁川行）　同　京元線（北行）　同（南行）
[illegible]

第五版

…止迄しが後場立會時間に至るも追證の整理未了の爲め遂に立會の運…

…錢と休日前の止め値に比し當限八錢中三十六錢先四十錢安を報ぜしが前止めは當二十六圓九十錢中二十四圓五十錢先二十三圓六十三錢と更に一段の崩れを報せり

植物標本

◆植物を標本として永く保存するを以て採集された標本植物と雖も其葉をして天然の青色を保たしむること…が出來れば植物學研究に…其葉色は自然にある場合の葉色とは大に異なつて居るされば之に著色し保存し得る方法が發見された…は高價の物を用ひ或は其他の方法に依り永く天然色を保たしむる方法に依つても可い此場合硫酸銅の溶液を…は植物の葉中にある葉綠質(クロロフィル)と化合し葉綠質と同…

◆但し此方法に依り褐色藻類の標本を造らんとする場合は少量の過…

生絲稍強調

輸出生絲市場は米國向大手筋の出動より形勢稍良好を示すに至りたる買現はれ上一番武州格…の商談成立したるが上一番は前値千五百五十圓にて出來したるものあり又上一番信州丸十…

京城日報

本紙定價 壹部參錢 壹ヶ月七拾五錢 ▲參ヶ月前金貳圓拾五錢 六ヶ月前金四圓貳拾錢 壹ヶ年前金八圓
廣告料金 七號十五字詰一行八十錢 ▲三號九字詰同一圓六十錢 ▲二號七字詰同二圓四十錢 ▲四號十七字詰同一圓
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 …
振替 京城三〇〇番

露國市場の將來と諸問題(八)

對露貿易に關する諸問題(二)

●露國會社法●

米國商業の露國市場に入るには二の方法あり。一は對露商業を營む目的を有する會社を米國內に設立する事にして他は露國內に於て斯る會社を設立するにあり。露國法に依れば前者のみ之を『外國會社』と稱し、後者即ち露國內に於て外國人の設立に係るものは凡て之を『露國會社』となし、全然露國法の支配を受くるなり。

外國會社＝米國法の下に於て米國內に設立せられし會社は其儘にては露國內に於て何等事業を開始するの權利を有せず。而して此の權利を獲得せんが爲には二個の條件を必要とす。第一には兩國間に之に關する特別協定の存する事を必要とし、第二には此協定に基づき各個の場合に付きて、露國內に於ける業務開始の勅許あるを要す。然して第一條件たる米露兩國間の協定は一九〇九年五月三十日を以て決定し現今尙有效なり。第二條件たる勅許を受けんが爲には特別の願書に適法の形式に遵ひたる左記の書類と共に其露譯文を添附して提出する事を要す。

(一)會社の定款及び該定款が設立地の法令に遵據せるものなる事を證明せる米國駐在露國外交官吏の文書。

(二)會社が許可申請を爲さしめんが爲に露國に在る其代表者に與へたる委任權を證明せる駐米露國外交官の文書

(三)特許發明品の賣弘めを目的とする會社の場合に在りては該特許狀及其賣上金高並に目論見書を添付するを要す

(四)既に國外に於て事業を經營せる米國會社にして更に露國內に其事業を擴張せんとするものに在りては前掲書類の外株主總會の認定を經たる過去五ヶ年間に於ける會社の貸借對照表、損益計算書を添付するを要す。

露國內に於て業務開始を許可せられたる會社は同國の一般法によりて裁判所に訴訟を提起するの權を認めらる。然れども之が爲には責任ある代表者の存する事を必要とするが故に、外國會社にして露國に於て公認せられたるものは、會社の業務を代表し、會社の爲に訴訟を處理し得る責任者を設くるを必要とし此の代理人は會社の利益の爲にする行動の上に於て全權を授けられざるべからず。

露國株式會社＝露國の會社法に據れば會社は總て其設立の動機たる目的を定めたる定款を基礎とし、一に之に據らざる可らず。會社設立許可の申請書及び定款の寫には設立發起者の調印を押捺し其事業目的に該當する主務官廳に提出するを要す。會社が新發明品の發賣を目的とする場合に於ては發明の特許狀並に該發明を行使するの權利を證明せる證類並に發明者の承諾書を添付するを要す。定款中に掲ぐる會社の目論見としては左の事項を記載するを要す。

(一)目的及事業の價値(二)名稱(三)重役會議開催の場所(四)資本、株數、株券の價格、株式賣買の方法等に關する詳細なる說明(五)會社の希望する特權及び該特權行使の期間(六)存立期間(七)業務開始に關する諸件(八)株主の權利義務並に其責任(九)利益配當並に準備積立資金に關する細目決定方法(十)會社の業務執行方法、組織、理事の權能及俸給、株主總會の權限及其れに對する制限等に關する規定(十一)『イ』爭議解決方法『ロ』淸算の方法『ハ』事業の特質より生ずることあるべき各種の事情に對應する方策

主務大臣は右の申請書と共に之に對する決定書を閣議に提出し其協賛を經べきものなるも、或る特種の許與を申請せるものにありては更に內閣の意見と共に之を皇帝に提出し其裁可を仰がざる可らず。

時局と鑛業界の契約問題(四)

辯護士 吉武繁

然らば不法行爲を原因として賠償請求が出來るか、否夫は出來ぬ、又不當利得を原因として賠償請求が出來るか、是も出來ぬ、と思ふ、夫は別問題となるから次に讓る。參考の爲め茲に高等法院判決例を擧ぐれば大正五年十一月二十一日の二度に出て居る。其判決の要旨は『鑛業權者は自身に又は自己の責任に於て、鑛業代理人を以て鑛業を管理し鑛物の採掘を爲す事を要するものにして、其鑛業權を目的とし鑛業權者にあらざる他人に採掘の權利を授與し、之に鑛業の管理經營を一任し鑛物の採掘收益を爲さしむるが如き契約は無效なりとす。』由之觀之鑛業權者が自己の責任を以て他人に採掘管理を經營せしむるは可なるも他人の責任に於て採掘經營をなさしむるは禁ずる事にて其契約は法律上効果を發生せず、即ち權利義務の關係を生ぜざる無効の契約に終るものである。或論者は鑛業權と鑛物採掘權とは別物である、故に鑛業權は他人に委囑する事出來ざるも採掘權は他人に委する事支障なしと云ふも、鑛業權とは其鑛區內に於て鑛物を採掘し是を所得する權利を謂ふものと解釋すべきものなれば、鑛業權と鑛物採掘權とは別異のものにあらずと解釋するが正當ならんと信ずるのである。此點も同樣に判例として確定して居るのがある(大正五年十一月の判例)

▲賣買の附帶條件として他人に採掘せしめたる場合 鑛業法上鑛業權其讓渡は許してあるが、其讓渡の附帶條件として鑛業權者が鑛業權を有せざる買主に對し鑛山の多少賣買の良否に就き調査せしむる事がある。是は買主に充分なる資力ありて、鑛業權名義を書替へても、信用があれば、名義書替の上探鑛する事にする、然らば是れから申す問題は起らぬが、名義を書替へた後買主が果して代金全部支拂ふ事が出來るや否や、疑ひを挾む賣主に對しては代金全部を受取る迄名義書替をなさず、買主名義の儘に買主に探鑛せしむる事がある。斯の如き事情の下に面白き法律問題が起る、是れは重石の鑛業權賣買問題に就てゞある、買主は賣主に賣買代金の一部を手附金として交付し、一定の期間試掘探鑛し、若し有望であれば殘餘代金を支拂ひ、有望でなければ契約解除と同時に、探鑛中の重石鑛石は全部賣主たる鑛業權者に交付すると約したのである、買主は右約旨に基き該鑛山に於て採掘し其約定期間の經過するも、有望なるや否や、賣主に對する何等の通知がない、賣主は實質賣買遂行の希望有無に付催告したるも買主は茲に暫く探鑛せざれば賣買實行決定し難し、故に一箇月待つて呉れ、十日待つて呉れと段々延期の結果賣主は待ちきれず、其鑛山の模樣が如何になり居るかと實地調査に行つたのである所が買主は其時既に其手附金の數倍の價額ある鑛石を採掘したる事の實を確めたのである。そこで賣主は買主に對し僅少の手附金を支拂ひ數倍の價額ある鑛石を採掘し、且探鑛期間は經過し、手附金拋棄か、賣買殘り代金を支拂ふ時期に到達し居れば是が支拂方を請求した、然るに買主は言を左右に付し中々其殘餘代金の支拂に應ぜない故に賣主は已むを得ず該契約に基き契約解除をなし、探鑛中の鑛石引渡しの請求をしたが、買主は奸智に長けたるもので、直ちに該鑛石を手附金の數倍に賣却し、引渡しと同時に代金を受取り、知らぬ顔の歴である、そこで賣主は契約解除となれば、此買主が採掘した鑛石は、賣主の所有であるとの理由の下に、賣主は買主に對し該約解除に基き、鑛石が引渡さるに依り、賣主の契約不履行に依る、損害賠償請求の訴へを提出したのである、德義上から申しても、契約上から申しても、買主は少許りの手附金を支拂多大の價額ある鑛石を取つて逃げた形となり、買主が不德であり、契約上から申せば其探鑛中の鑛石は賣主に返さねばならぬ、何となれば買主の探鑛は將來有望なるや否やを確かめる爲めの探鑛に過ないからである

並行線 (三十)

瀧閑村

『江藤の娘を俺に貰つてくれと云ふのだがね』

宣介を途り出して、跡片付を終つてから、新聞を中にしてお夏と向ひ合つた時宣太郎は、打棄るやうに斯う云つた。

『へゝ、あのおのぶさんを？』とお夏も嘲る如くに答へて、

『大兄さんの話つて云ふのは其話なの、それで兄さんは何と御返事なすつたの？』

『俺は斷つたさ、斷つたけれど、大兄はもう一度考へてくれと云ふから、さうしようと云つて別れて來た、何でも一度何處かへ嫁つた女だつて云ふぢや無いか、俺は大仁で逢ふには逢つたから顔は知つてゐるが……』

『さうねえ、もう二十五か六でせうよ、私よりも一つ二つ上だつたから……まア大兄さんからの話だから、兄さんさへ宜けりや宜いやうなものだけど、よく考へて見た方がいゝわねえ。』

『俺もさう思つてる』

お夏には條件の話はしなかつた。謙子の話もまだしては無かつた。二つ三つ外の話をしたお夏は洗濯に立つた。

宣太郎は新聞を手にした。歐洲戰爭は次第に激しくなつた。氣短な日本人の眼から見ると齒痒いやうに思はれる事もあつたが、飛行機の活躍や、毒瓦斯、山砲(?)、タンク等の威力と相對した戰線の廣さ、兵員の數などは一寸日本人に想像の出來無い位大きな數字だつた。海には獨逸の潛水艇が横に暴れ廻つて、聯合軍の汽船はドシドシ打沈められた。此戰爭の大きい渦は遠い日本をも捲込まずには置かなかつた。日本國民は青島を攻落した以來は、もう是で自分等の役目は濟んだやうに考へてゐたが、經濟上の影響は中々そんな悠暢な無自覺を許さなかつた。

染料、藥品、鐵類は缺乏して眞先にズンズンと暴騰した、從來皆國內で出來ると思つてゐた物が輸入が減退すると同時に、悉く外國の供給に待つてゐた事を知つたものも二三にして止まらなかつた、自給自足と云ふ聲が大きく強く叫ばれた、そして今更のやうに科學の不進步を嘆じ、泥棒を見て繩を綯ふやうな研究の結果、色々な工業が起つた、それと同時に聯合軍の一國からは武器等の大註文が殺到して、其等の製造も大規模に始まつた。今迄輸出しない物貨が、今迄輸出しない國へ盛んに日本製品を輸出するやうになつたので、國內の景氣は非常によくなつて、物價騰貴の聲を打消してしまつた。染料成金、鐵成金、船成金など、云ふ語が流行り出して、それが羨望の的、渴仰の的になつた。外國の辭書にすら、リキシヤ、ダイシヤ、キモノ、と共にナリキンと云ふ新語を加へるやうになつた。

部闘縣(?)は氣候の關係で、割合に微溫的な所だがそれでも色々な工業が勃興し、小さい成金が澤山出來た。其日の新聞にはそんな事が幾つも記されてあつた、それは宣太郎の眼を強く射た。

『朝鮮が駄目だとすれば、俺も此方で一旗揚げなけりやならない、結婚なんかは犠牲にしたつて已むか得ない。――』

宣太郎は亢奮して斯う心に叫んでも見た。

雪中即事　戸田五郎彥
夜來飛雪撒珊瑚。曉起觸途皆耀(?)看。秋岳千尋蹴玉樹。荒原一道碎銀灘。村翁共醉新年節。野雀偏悲得食難。遙想歐洲戰場苦。陣中踏指不堪寒。
蒼堂曰 寫景以想遠征、側隱之衆。

尋楓　新野良隆
間來石上酌芳醇。霜後楓林秋色新。斜照滿溪明似錦。晚鐘催送醉來人。
蒼堂曰 歸路逸入、亦復有趣。

洞　伊奈信一
蕭蕭茅屋曲溪傍。石徑停車坐夕陽。秋入山村霜有信。半林紅葉(?)半林黃。
蒼堂曰 詩入口吻

梅　山崎集
暗香如水透書櫺。起折梅花插瓦瓶。黃鳥有情來又去。春風簾外晏餘聲。
蒼堂曰 梅花有情黃鳥有心

澄江如練　三宅猶之助
斜陽一抹駁晴川。瀲灧春波漾碧天。兩岸山楓秋散綺。誰將謝朓使晚歸篇(?)。
蒼堂曰 餘霞散綺

同　竹內元正
水滿長江秋色殊。楓舟搖盪入蘆叢(?)。晚風吹掃橫斑去。波織細紋如畫圖。
蒼堂曰 寫入細景亦不細弱

秋雨新涼　遠藤鐵山(?)
一雨滌殘暑。新涼次第添。陰蛩鳴古壁。孤雁落前池。杜老草堂嘆。湘君斑竹悲。新涼須勉勵。燈火可親時。
蒼堂曰 秋雨嘆無過今年矣

同　岡村秋曉
古岸傾欹梢露根。曉風吹水冷霜痕。…

中元御贈答品

左は中元の御贈答品御決定前たれば品質群を抜く優逸なる附印のパイン萬年筆
萬年筆は各階級を通じて尊ばれる頗る現代的の御贈答品であります(美術箱入調製)
無飾撚出式 六圓八十錢
無飾インキ止 三圓八十錢
飾付インキ止 四圓九十錢
學生號 二圓八十錢
ビジネス(事務用) 一圓九十五錢
パイン萬年筆製作所 京城本町壹丁目 電三〇七七番
熊平京城支店 京城本町貳丁目 電話六二四番
京城太平通 電話 横內二十九番 京城日報社代理部

氣の利いた中元の御贈答品
□和洋酒 □食料品 □罐詰 □飲料水 □洋菓子 □食器 □葉卷煙 □金口煙 □サッポロビール
共通商品券調進
京城 青木堂

中元御贈答品
□人蔘エキス □人蔘箱入 □人蔘砂糖漬 □人蔘エキス飴 □人蔘コーヒ糖 □人蔘飴 □人蔘コーヒ □人蔘粉末
京城本町一丁目 津村兄弟商會

大日本麥酒株式會社 京城出張所

中元賣出し
京城本町二丁目
電話二十七番 電話四七五番 龜屋商店

御進物には
越の商品券
三越の商品券は東京、大阪、大連、京城の各店共通にして三越販賣の何品とでも御引換申すべく御手輕にして至つて御重寶なる壹圓以上調進仕候
京城 三越呉服店

◎獨紙秋波を送る
講和に關する所論に於て

伯林オツシツシエツアイツング紙は、獨逸が容認し得る具體的講和條件を論じて曰く獨逸殖民地恢復問題に至りては獨逸の政治家中一人として瞬時も是を疑ふもの無し然れども若し將來に於て獨逸が其所領たる南洋諸島を他國に賣渡すか或は是を何物かと交換するが如き交渉に應ずることするも獨逸が斷じて英國を對手として斯かる交渉を爲さざるは明かにして賤く共獨逸が目して將來太平洋を當然其の私益範圍たらしむ可き國と爲すべく亞細亞の某國とならんには恐らく會商折衝を辭せざらんと（倫敦電報）

◎獨逸議會の暗礁
投票を拒絶す可しと聲明せり

獨逸帝國議會に於てシヤイデマン氏は、民會黨員は豫算投票を拒絶す可しと聲明せり（アムステルダム電報）

◎諾威丁抹と提携
スカンヂナビヤ聯邦の前提か

瑞典來電——諾威丁抹代表者聯合會の報告發表されたり右報告中に是等諸國は戰爭終結の際及び其後も引續き共に提携す可き旨を述べ居れり是スカンヂナビヤ聯邦の前提ならずやと思惟せらる（コペンハーゲン電報）

◎廣東攻略計畫

曹錕氏は經略使の名義を以て張懷芝氏に廣東攻略計畫を實施す可しとの命令を發せる旨參陸辦公所に報告せり其計畫とは湖南に於て第三師直隷混成旅に守勢を執らせ湖南にありし奉天軍三混成旅、江蘇軍一混成旅、山東軍二混成旅、安徽軍十六營を江西に進退せしめ江西にある江西軍一混成旅、江蘇軍一箇師團、安徽軍十四營と混合し張懷芝氏是を指揮し江西の大庾嶺を越ゆに以て廣東に侵入するものなりと（北京特電）

◎廣東國會議事

廣東國會は法定數を得れば解散前に略議了し居れる憲法の殘餘條項を議定せる後議員選擧法を改定し相當選擧法を修正し然る後正副總統を選擧する計畫なりと（北京特電）

◎官銀號閉業

東三省官銀號營口支店は兌換に堪へずして突然閉業せり（營口特電）

大阪より

△銑鐵高と輸入　銑鐵は英國の禁輸に次で印度の禁輸に逢ひ更に米國の禁輸に接し本邦への輸入は支那のみに止りたり輸入の減少による在荷の僅少に市價は其後騰貴一方にて昨今にては殆ど百四十圓の高値を示し居れるが其輸入狀態左の如し

月次	數量（千噸）	價格（千圓）
七年一月	一八,六六六	三,〇六〇
二月	一二,八八七	一,七七二
三月	一七,三〇一	二,〇八三
四月	三二,四九八	四,四六二

右の如くにして之を一噸當りの價格に見るに一月の百八十九圓より二月には二百四十一圓に進み三月には二百二圓と引緩み四月には二百三十二圓を示し居れるが如き狀態にあり而して最近本溪湖より相當の輸入あるを以て幾分市價の引緩みを見るに至るべしと觀測されつゝあるが何程の緩和を見るべきか否やは疑問なりと

△生糸暴騰頓挫　生糸界は大手筋の買見送りに依り約旬日間鈍調を持續したるが廿一日以後は原茂木鈴木出店の買付けに多少引締りをなし廿二日には首領筋の買急ぎもの現はれ人氣更に昂進し信州上一番千六百圓の手合あり日曜明けの廿四日は更に二三十圓高の硬調となり遂に五十圓高千六百五十圓の新高値にて約二萬斤の手合成立し近來稀有の高勢を示したるが廿五日も買人氣旺勢なるも高値の爲め躊躇一寸買惡く時期待の態度になり廿六日は大波瀾一過後の閑散に陷り居る一方には定期相場一番千六百圓程に引下けを見るや賣調に傾き一頓挫の傾向現はれ上品の商約定は極めて旺盛なる情報ありて買値頃には盛んなる取引行はれ又相場の昂騰は免れざるべし

△米西伯利發展　西伯利亞は麻、大麻及び羊毛を產し特に麻、大麻は品質最も良好にして又產出額も非常に豐富なるを以て麻絲並に麻織物の有望なるは勿論羊毛も極めて有望なれば米國斯業者は西伯利亞に注目し其經營の準備中なるが麻產地の中心點はノウオラコラエウスクにてヴイースク附近は甚だ良好なる耕作地にして織物は長尺物に非ざるも一種の奢色を帶て世人の嗜好に適するを以て米國工業者が其原料の改良と相俟つて織物の意匠を圖らんか大に榮えて發展するを得べき意氣込なりと

△揮發油高見越　揮發油は本年四月より既に數回に亘り一圓五十錢方の値上の決行し昨今引續き氣丈の成行を示し居れるが右は米本國の運賃高の關係並に內地及び米國に於ける需要の激增したるに外ならず而して內地に於ける產額も大正五年に比し六年は七割八分の增加を呈し又米國よりの輸入も六割四分方の增加を示し居れるに斯の如く斷ねず氣丈の成行を示せるは前記の如く需要の增加に依るものにして其方面は[illegible]染料豆粕並軍事用品としての異常の激增に基因するものなりと云ふべく獨大體の市況は依然として強含みの狀にありと觀測されつゝあり

△洋紙界強硬　四月中一割方の値上げ實行を協議せし洋紙販賣業者は先月中再び協議を開き更に幾分の値上げを協議せしも一部の不賛成ありたるもの、如く具體的の成案を成すに至らず各自適宜に販賣上に手加減を加ふる事とせしもの、如きも新聞紙用其他一般の需要は現在の原料を以てせば到底供給し能はざる實狀なれば初秋にも入らば更に値上問題再發するは必然なるが如し（大阪支局）

◎期米暴落と暴利取締令

昨秋の惡天候にて供給不足の聲高く一面政府の米價調節策行はれしも人氣は之に反抗し正米高に連れて暴騰に次ぐに暴騰を以てしたるより政府もあらゆる手段を講じ米價の暴騰を抑壓せんとするの時に際し大阪に於ける有力なる賣方の出動するあり茲に定期市場に向つて大袈裟なる賣聯合成立し相場の崩しを企て流石に頑強を極めし相場も十仞瓦解の轍を踏み爾來暴落に次ぐに暴落を以てし六日後場は終に立合を停止するの止むなきに立至れり今回の大阪に於ける賣方は米價調節の美名の下に巨利を占め居るに反し買方は實に慘憺たる境遇に陷り位置を顛倒するに至れり斯る場合大阪の例に倣ひ東京其他各市場に右の如き手段を弄する者續々として顯はれ來らんか終に定期米に向つて買を試みんとする者なきに至らん仁川取引所に於ても內地より大手の買方顯はれ且つ買方は結束して大袈裟なる買占めを爲し居れりとの說あり夫かあらぬか仁川當中限は本月一日後場より立合停止中にて先限のみ立會居りたるが大阪の暴落を報ずるも影響せず二十二圓臺を維持し居りたるに八日前場に至り遂に二十一圓十五錢に大暴落を爲し遂に整理の爲め一時立合を休止したるが內地より買占めに來りたる理由は種々あるならんも要は暴利取締令なきを奇貨とし巨利を占めんとしたる言を俟たず斯る徒輩の再來せざらん事を防止するには朝鮮にも暴利取締令の施行を必要とすと某氏は語れり（仁川）

◎朝鮮產金減少
前途の復活望み難し

昨年來減少一方なりし朝鮮の產金狀態は大正七年に入つてその減少更に著しく斯界の前途憂慮に堪へざるものあり本年上半期に於る產金總額は約三百二十萬圓なるが之れを前年同期に比し六十餘萬圓の減少を示し居れり

▲憂ふべき減少　卒然六十萬圓の減少と云へば產金總額三百餘萬圓より見て必ずしも多からざる如けれど朝鮮產金の主要部分を占むる外人經營の平北雲山雲山鑛道の遂安並に忠南稷山等の大金鑛はその利益率に於て前年より減少し居るらしきも產金額は殆んど差なしとの事に付結局六十數萬圓の減少は內地人並に鮮人經營金鑛の產出減と目すべし而して之れを割合より見れば雲山遂安稷山の產金額は朝鮮產金總額の六割強を占め居れりと云ひ得べく乃ち昨年上半期の朝鮮產金額約三百八十萬圓の六割とすれば二百二十八萬圓を算し內鮮人の採金は百五十餘萬圓となるべく右の內より六十餘萬圓の減少を見たるは率に於て少なしと云ふべからず

▲產金減理由　何故に產金減を來せしやと云ふに（一）ダイナマイト、青化加里水銀八角鋼等の採金材料が一齊に高騰せる事（二）兼二浦製鐵所の開始その他事業盛況を呈せしめ勞働者の不足を來せると物價の騰貴は自然勞銀の騰貴を促したる等を數ふべく結局採金作業用の勞力並に材料は著るしく昂騰せしも生產品たる金は一匁五圓の値を動かずコレ小鑛山並に十萬分の二以內位の含金鑛石を掘り出す金山は到底製錬不引合となりし由にて作業の中止廢所に現はれ初めたるなり

▲鑛石移出　最も鎭南浦の久原製錬所が金鑛石を買收し含金粗銅として內地に移出しある高も少からず又藤田久原等にては鑛石の儘內地製錬所に送りつゝあるもあり結局廣き意味に於ける朝鮮の產金は多く減ぜざるやも知り難きが要するに鮮內の採金製煉著しく減じ居れり

▲復活期奈何　尙ほ地金出廻り減の一理由として金の密輸を企つるものあるやにて最近平壤にて此種の犯人を逮捕せる實例あり又平壤にては一部に於ける純金の取引匁五圓七十錢を唱へ裝飾用として支那人に賣渡しつゝある者もなきに非ざる如しと之等は素より大勢を動かすものと云ふべからず要するに朝鮮の產金は材料高並に勞銀高に災せられ稀有の不振狀態を呈しつゝある際にて此の騰貴せる物價並に勞銀が平調に歸せざる限りその復活は俄に望み難かるべきか

◉財界新機運
輸出入品增減理由

輸出入主要品目に付昨年同期との對比及び其の增減理由を見るに左の如し

輸出の部に於て米は內地市價暴騰の結果半額以上の激減あり茶は未だ米國制限に觸なかつた爲め

□百六十萬圓　を增加し精糖は原糖供給不足を憂へたる結果約二百萬圓を減じ輸出の大宗たる生絲は制限令の威嚇を受けながらも未だ實際的影響なく且前年來の豫約品も多かつたので千五百萬圓以上增加し同樣羽二重も八百萬圓の增加を見綿糸も尙は五百六十萬圓を增して居る同じく綿系に於ては約二千四百萬圓の激增あり綿織物に至つては四千萬圓以上の大激增を見た我紡績界の鼻息の荒いのも此好運に際したからである銅は米國の生產力が激增した結果が却つて三千三百萬圓以上の輸出激減あり亞鉛も同樣六百餘萬圓を減じ製紙用眞田に至つては

□屢々悲觀說　に脅迫されて實際的影響も受け始めたので四十五萬圓許り減じて居る燐寸は依然として輸出旺盛を極め約四百萬圓を增し陶磁器も約三百萬圓を增加し昨年來の惰力を維持して居るが夏帽子は卅萬圓以上の減少となつた更に輸入の部に付きて見るに政府の食糧補充策に關聯して米穀は約二千萬圓を增しゴムの如きも需要激增の結果二百六十餘萬圓を增加し智利硝石一時悲觀されたるも幸ひに輸入杜絕の難に遭はず却て百四十餘萬圓を增加して居る問題の棉花に至つては所謂原料營理政策未だ英國より發動し來らず却て

□順調に輸入　された結果無慮一億五千萬圓の激增を示し羊毛も表面の制限令は手嚴しいものあるに拘はらず政府の交渉大に努むる處ありし結果分譲の許可なりに多く是亦千五百萬圓の增加と爲り重器工業は元より一般毛織業をして蘇生の思ひあらしめた鐵材は塊、錠、條竿、板、管、等を通じて皆輸入を增加し總額に於て實に一億二千五百餘萬圓の激增となつて居る、鐵材と殆んど同樣の種目に屬すべき諸機械類は輸入困難に苦しみつゝありしも工業家が百方奔走の結果意外に米國より買收し來る便を得僅に一千二百五十萬圓の

□增加を示す　に至つた其他豆類、砂糖、皮類、油粕、パルプ製紙等も百萬圓乃至五六百萬圓の輸入增加を見工業原料や肥料等の需要に對しては相當に供給されて居る譯であるから結局我生產力を增加したる意味に於て寧ろ悲觀するに足らない今後の問題は要するに輸出貿易が支障なしに進み得るか否かに在るのである（東京）

◉多島海航路
伊藤海事課長談

近時頻々として起る朝鮮多島海に於ける船舶遭難に關し遞信局海事課長伊藤定弘氏は曰く朝鮮近海に起る船舶遭難中其大部分は多島海なれば一般世人は多島海を目して甚だ危險區域の如く感じつゝあるが事實同地域は群島點在するを以て深淺常ならざるに付船舶航路としては甚だ物騷なる地域に屬すれども併し遭難全部の原因は必ずしも天災的不可抗力のみと見做す能はず同所は內地山東角間の航路中最も捷徑なる通路なりと雖も群島多きを以て船長は充分なる注意を施せば大過なからんも航路不案內と不注意より屢々大事を惹起すならんと想はる要するに最も安全なる方法は大黑山島の南三十哩を航行せば概して安全なれど時間と經費節約のため七發島附近の危險區域を航行するのみならず甚だしきは同島の霧砲信號を聞きて自船の位置を知らんと欲し接近し來り時潮の測定を等閑に附する等の結果常に位置の安定を失ひ不測の禍を招くことも決して少しと云ふ能はずと

內地人郡守（七）
（海州）下阪重行氏

氏は明治元年福岡に生る明治二十八年同縣論賀郡書記に任ぜられたるを振出しに三十四年臺北縣屬となり三十九年關東都督府屬に轉じ四十一年

◆朝鮮　に來り平壤在勤理事廳屬となり後平安南道安州郡書記より中和龍岡並に學務主任全羅南道學務主任等に歷任した人で植民地の事情に精通せる事は

◆新任　郡守中の唯一人と稱せられてゐる氏を道廳に訪へば折から不在中であつた某氏曰く『氏は滿洲朝鮮の事情に通じて居る許りでなく郡書記として

◆直接　地方行政に携はつた經驗上郡守としては必ず優秀の成績を擧げ得る事と信ずる』

◉府尹郡守懇親會　目下京畿道府尹郡守會議の爲め入京中なるを機とし道廳府尹等の發起にて九日午後六時より黃金町明月館支店に於て懇親會を催す可し

◎新理學博士
京城醫專の小林講師

京城醫學專門學校講師小林晴治郎氏は八日理學博士の學位を授けられたり（東京特電）

◉朝鮮彙報（七月號）　主要なる記事としては稅關長道慈惠醫院長、典獄、司法官等に對する長谷川總督の訓示を始め伊藤遞信局海事課長の「朝鮮に於ける海運事情」、國分司法部長官の「共通法に就て」其他調查及び研究事項、地方事情、雜錄統計等を輯錄せり

人　事

▲八木與三郎氏（關東都督府博物館託）十日夜北行列車にて赴任の豫定　▲高洲規氏（群山日報社長）八日不知火へ　▲江崎袈彦氏（古河合名會社庶務課長）八日夜退京　▲葛原猛吉氏（稷山金鑛支配人）同上

□□□閑百種□□□

昨日本欄に書いた明石將軍の軍中談に對して此處にも面白い話がある▲佐藤鋼次郎中將と云へば軍事批評家として近時新聞に雜誌に大に名を揚げて居るが▲將軍は[illegible]くは大和民族の不利益になるやうな議論をする者があると猛烈起つて戰を挑む▲曾ては尾崎咢堂君に喰つて掛り松波博士と大筆戰をやつたものだ▲特に松波博士とは筆戰數合に及んで勝負決せず[illegible]の詰りが博士から「議論で論戰しよう」と申込で來た▲すると將軍は「筆戰で解決が出來ぬものを議論して見た處で埒の明かう道理がない此上は唯腕力を以て雌雄を決しよう」と返事したので流石の博士も之には忽ちヤシンと參つたとか▲最う一つ豪傑將軍の話がある之は長岡外史將軍が此程近衛隊の若い將校を訪問した時▲將軍グッと打返つて打解けた話の末『お前達は新宿の遊廓へ幾度行つたか』と聞いた▲將校連が驚いた顏してまだ一度も行つた事はありませぬと答へると▲將軍得意の髯をしごきつつ『今の若者は遊びを知らんとは怪しからん』と大氣焔▲處で後で新宿通に聞くとそんな女郎屋は最う二十年も前に廢業したと判り將軍もギャフン▲『イヤ矢張り老人は老人同志話すに限る』とは將軍として少々閉口なり▲最う一つ同將軍のシルクハットは十四年前英國で仕入た古物である▲先達て買換る積で或帽子屋に見せ『是は最新流行の型でまだ餘り日本へは參つて居ませぬ』と聞き▲將軍急に鼻高々と『君それは今度三越で取り寄せた帽子だよ』と帽子屋を煙に卷いて之は大得意

◎南阿棉作　有望

南阿弗利加に於ける棉花事業發展の前途は頗る有望にて[illegible]る棉作耕地は五十二百英町にして其內スルランブルグの三千英町は最も多くウオーターベルグの二千[illegible]處其土壤と氣候とが棉花に適當なるを發見し得可しトランスヴアール及びスワジランドに於る氣候[illegible]る變化無きことは棉花の成育に最も望ましき條件たり得可きが如し尙[illegible]に於ては低地の草[illegible]適に信ぜらるゝが如くに危險するに非ず雨量は十月より一月に渉り[illegible]發育の時期に於て多くそれより[illegible]雨なきことは棉花生產に缺く可からざる要件にして此點に於ては北米に於てすら猶ほ滿足し難き狀態[illegible]る棉花生產は最も將來期待す可きものたること何等疑問の餘地なし

▲未發達の原因　然るに[illegible]る上に交通不便なるにより生產に從事するも賣却の困難ありて取引[illegible]能はず勢ひ之が發達を[illegible]るものは土民にして彼等の生產せる南阿棉花は品質に於て米棉と[illegible]ドリツク[illegible]に棉花の供給を求め得べきが故大に注目に値する次第なり

小學教員受檢講義

立身の捷徑は先づ就職容易なる小學校教員となるに限る全國其不足實に四萬本會は學監師範學校教頭大家先生監修の下に最も親切速成に教授し受驗就職の便を與ふ正科一年尋準科六ヶ月辛要會則申込次第進呈　東京小石川局區內　帝國師範學會

珍品書畫陳列廣告

古來北京に於ける古今名人の書畫玩物の高雅なる逸品非常に多かりしも方今其大部分は大家紳士の珍藏する處となり市場に出る如きは甚だ稀に見る處に候處今回弊方に於ては古大家珍藏の粹を拔きたる逸品多數を輸入陳列致置き候間御散步旁々各位の御光臨御賞覽の程願上候

京城長谷川町　書畫研究會下府　翰墨林告白

藥草栽培其販賣法

鳥代虎藏著○金文字天金箱入美本完全製冊●總六號活字全部かな付　▲確實有利の副業▲藥草を栽培せよ試作用種子進呈　本會は官吏任員人の村場明細書添附す　東京大阪八新聞に大廣告を博す　サフラン栽培は容易で收益多大　一斤三十圓以上に本會で引取る　母球三倍にふゆる千個五圓內外　商家官吏の小資本副業培は四季珍花を眺め娛樂と實益とを兼ね一反步の收支計算あり　本書は二十種の栽培法、販賣法、精製法、薬効、等を說明し利益頗る多し　本書定價金九十五錢送料共特別一冊・引換小包は一圓十六錢で送本す

サフラン母球廉價分讓　定價表郵券封入申込あれ郵送す

東京九段招魂社脇○振替東京二三四七一番　殖產協會出版部

貨殖捷徑策

債券公債所持者は安全にして一擧兩得の利殖策　確實にして趣味ある小資本にて面白く安全に金儲を欲する眞面目なる方は直に申込あれ內容詳細書無料送附す

大阪市北區曾根崎上二丁目一七二（電東道）　貨殖普及會

神戶市相生町四丁目百貳拾五番屋敷　大正二年創立　報國公債株式會社

今回新聞紙上掲載にかかる全國一般債券月賦販賣禁止云々の件に就ては弊社は嚴に內務省令を遵守せる販賣方法の認可を得て營業致候間[illegible]

◎割增金當籤廣告

慶北尙州邑內　一金壹千圓也　當籤者　月賦購買者　尹龍淑殿

右ハ當社月賦賣渡シノ勸業債券第三十二回第六五一五七號ニ對シ本月一日勸業銀行ニ於ケル抽籤ニ當籤候也

京城府若草町百六番地　債券公債月賦販賣　報國公債株式會社朝鮮支部　長電話二〇〇六番　振替口座京城六五九番

◎月賦購買御契約ノ方ハ御疑念ナク月賦金御拂込被下度報告候也

▼パラチブス＝家庭必備＝檢溫器

模範的三分計　FINE　檢溫器

優美サック入　定價壹圓五十錢　送料鮮內十二錢外卅錢

農商務省標準器に準じたる特製品　パイン檢溫器

發賣元　京城大平通　京城日報社代理部　電話長六〇〇九番　振替京城三〇〇

外科　內科　小兒科　皮膚科　花柳病　入院隨意　診察夜九時迄

院長　正六位勳四等功五級　島崎龍一

本町通り左に入る京城旭町一丁目　電話二七三六番　島崎病院

朝鮮彙報地方號

大正七年六月號　每月一回（定價十二錢　郵稅一錢）△廣告料一頁金六圓　販賣店京城大阪屋號書店

□地稅令改正の要旨　內務部長官　宇佐美勝夫

□地主に對する希望

研究資料　○使用料及手數料に就て　○大小麥優良品種普及の狀況並栽培成績　○桑田段別　○優良家蠶飼育[illegible]

口繪　△平壤公立農學校　[illegible]

朝鮮彙報

大正七年七月號（每月一回）　定價二十五錢　郵稅二錢五厘　△廣告料一頁金七圓　販賣店朝鮮內地各書店

口繪　[illegible]

□稅關長に對する總督訓示

□道慈惠醫院長に對する總督訓示

□典獄に對する總督訓示

□司法官に對する總督訓示

調查及研究　○次代國民の改善　○朝鮮の[illegible]

朝鮮に於ける海運事情　遞信局海事課長　伊藤定弘

共通法に就て（承前完）　國分三亥

地方事情　小作慣例に關する調查

雜錄　[illegible]

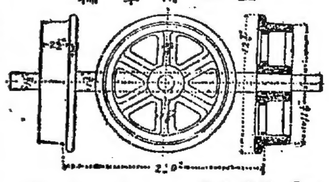
統計　[illegible]

○法令及通牒　○判決例

チルドル製

在庫七百臺

土工用車輪



朝鮮製にあらず

昨年來內地專門家と契約中の處昨今續々入荷日每に五十臺づゝ七百臺御注文に應ず

東京鋼機株式會社　東京製鋼株式會社　中根式鑛山用捲揚機專賣製作發賣元　○虎印八角鋼

朝鮮總代理店　京城南大門外　電話一〇〇四番　中根商會　京城岡崎町　電話一二五六番　中根工場

朝鮮總督府編纂「最新刊」

東部　西伯利地圖

定價金參拾五錢　郵稅二錢

右部數僅少品切れとなるの恐れあり至急御注文被下度候

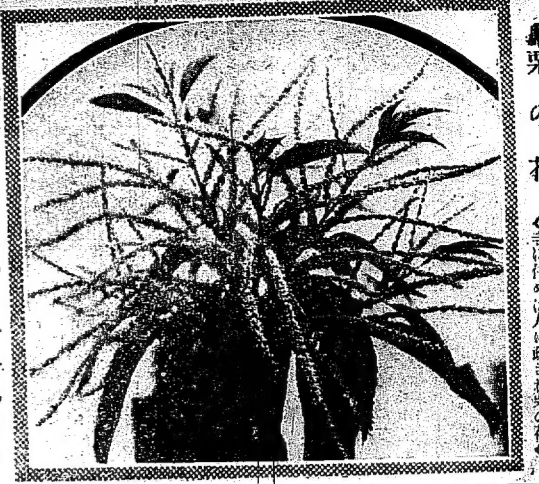
發賣元　京城太平通　京城日報社代理部　電話長六〇〇九番　振替京城三〇〇

美しい日本の婦人服

コ殿下世界の最美と激賞さる

◇美點と沿革——下田女史曰く

袖と裾の長いのは美しい——極中的なは奈良時代



栗の花——◇幸に住めば人に疎まれ栗の花◇

▽……日本服は　奈良朝以前のですこし餘り古いので、細かいことはよく分りませんが、何でも袖が細く下は袴のやうなものをつけ、それに草木の花や葉を描つて居り、縞染も非常に進んで居り、絞り染のごとか刺繍等なども非常に巧妙で、且つ染色も美しくて居りました。やがて平安朝になりましてから、服裝は大分變化して所謂百人一首などの繪に見るやうな世に云ふ

▽……十二一重　になつたのであります。あれは一番上に小袖を着、上へ袿をかけ其からヒレをかけ

▽……玉をかざ　つてるたのでございます。其時代は織物も染物も非常に進んで居り、絞り染のごとか刺繍等なども非常に巧妙で、且つ染色も美しくて居りました。やがて平安朝になりましてから、服裝は大分變化して所謂百人一首などの繪に見るやうな世に云ふ

▽……奈良朝に　なりまして、支那唐代の婦人の服を大分參酌してまるりましのが所謂天平式の服なのでございます。天平式の服は二番下へ緋の袴を着まして、その上へユキも袖も長いのをつけ下へは袴をはき、上へ袿をかけ、其からヒレをかけ

▽……日本服は　奈良朝以前のですこし餘り古いので、細かいことはよく分りませんが、何でも袖が細く下は袴のやうなものをつけ、それに草木の花や葉を描つて居り、絞り染のごとか刺繍等なども非常に巧妙で、且つ染色も美しくて居りました。やがて平安朝になりましてから、服裝は大分變化して所謂百人一首などの繪に見るやうな世に云ふ

▽……十二一重　になつたのであります。あれは一番上に小袖を着、上へ袿をかけ、其からヒレをかけ

▽……玉をかざ　つてるたのでございます。其時代は織物も染物も非常に進んで居り、絞り染のごとか刺繍等なども非常に巧妙で、且つ染色も美しくて居りました。やがて平安朝になりましてから、服裝は大分變化して所謂百人一首などの繪に見るやうな世に云ふ

▽……奈良朝に　なりまして、支那唐代の婦人の服を大分參酌してまるりましのが所謂天平式の服なのでございます。天平式の服は二番下へ緋の袴を着まして、その上へユキも袖も長いのをつけ下へは袴をはき、上へ袿をかけ、其

妻の心（三十二）

六の四　小林蹴月作　武內桂舟畫

『それと申しますのも、罪は、妾の至らぬ爲めだと存じますから、必ず々良人や貴女方をお怨み申す心は御座いませんが、只遺憾な事が、往々大きく世間に知れますやうでは良人の地位信用にも拘はる事で御座いますし、折角選擇して下さいました皆樣に對しても、面目次第も御座いませんので、成う事なら、穏便に事を濟ませたいと存じまして……ね』と、絹子は、伏目がちに膝の上の手巾を捻くりながら云ひ添す。

若龍は、それを聞き了つて、暫時無言に唇を噛むのみであつたが兎に角自分の落籍問題が直接の原因となつて、町川の身上に由々しき不名譽を及ぼし、脆弱い温柔い絹子に此の大心配をかけるばかりか、家庭內では日毎に親族會議の開き詰めと聽いては、何ぼ媚を賣り情を鬻ぐのが、本業の如く云ひ做さる、泥鰌の女なりとて、其處に一脈の熱い血が通はずに居るべき筈があらう？殊に此の若龍が素性はと云へば、憚りながら親三代の江戸ッ兒、俠と義とは、水道の鐵管から直接にその五體へ注ぎ込まれて、立て通す一本杉の意氣地は、餘所地から流れ込んだ變り種とは先天的に組織を異にして居るのである!!奥樣、藝妓の眼にも涙は御座いますのよ!!口へは出さないが、心にはちやんと或る事の覺悟を定めて、若龍はやをら徐かに飲みさしの盃を取上げ、

『奥樣、我儘を申して濟みませんが、どうせ貰ひ出したもんですから、もう一つ頂戴致しますわ』

『まあ、迂濶致しましたわ。一つと被仰らずに澤山召上つてそして、御心藏のない所を打明けて下さいませ』

『ほ、ほ、ほ、藝妓なんてものは、隨分無作法な者だとお笑ひでせうね。』と、若龍は、絹子の酌して呉るゝが儘に、二三杯をつゞけて、稍櫻の色のほのめき初めたる頬邊を袢の袖に抑へる眞似しながら

『致しますと、奥樣、妾が若しや貴女の旦那樣と、心から底から添ひ遂げたいと云ふ希望を有つて居るものと致せば、貴女が妾の身體を一切お引受け下すつて、お邸へでもお伴れ下さると云ふ思召しなんで御座いますか？』

『……公然と申す譯には參りませんでも、是非然う云ふ事に計ひたいと思ひますので……。』

『そして、妾を身分にして、可愛がつてやらうと被仰つて下さるんで御座いますね。』

『貴女に取つては、お厭な事かも知れませんけれども、成らう事なら……。』

『ほ、ほ、ほ、お眼ごころでは御座いません。冥加に餘つて嬉しい有がたい思召しだとは存じこりますんで御座いますが……。』と、若龍は、又少時胸に手を當て、思案の瞳瞼を長く見せたが、

『その御親切やらお心盡しのお蔭を承はつてから後、這麼事を申上げましては、何だか變にお取り遊ばすかも知れませんが……實の所を白狀致しますと……妾にはあの町川さんと御關係致します前から、將來を約束致した一個の情夫が御座いますんで御座いますの。』と、口早に云ひきると等しく何の呪ひかは知らぬが、慌だしさうに盃を引取り、眼を瞑つて、ぐつと一息に飲み干したのである

『ねッ、何と被仰るんです、若龍さんッ』と、絹子も、劣らぬ狼狽へらしい眼を瞠つて、

『そ、そ、そりや貴女、本統のお話なんで御座いますか。』

『何しに貴女をお欺し致すもんで御座いますか。奥樣の前では申上げにくう御座いますけれども、町川さんはほんのお小使に困ります時の融通代りに、お世話をして頂いた丈の事で、眞實、妾の思ひ詰めて居りますお方と云ふのは、ちやんと他にあるので御座いますから、折角の思召しでは御座いますが、只今のお話は、お斷り致すより外は御座いません。』と、若龍はきつぱり！

內氣な絹子は、崖からでも突き落されたやうな顏して、二の句さへ繼げずに、只銚子持つ手先を顫はすのみである。

無佛送別俳句會

『七日於南山公園青木堂にて』

『靑嵐』

五點の句

陽に立てば山一ぱいの靑嵐　雄川

三點の句

靑嵐聯がに水に映りけり　蜒城

二點一點の句

芹の花の丈けを靑嵐沈む也　鳥堂

端顕紬に立つ靑嵐人味ふ可し　同

無佛送る俳坐や窓の靑嵐　鳥兎

崖城の馬鬣けて壁の靑嵐や　同

靑嵐翠帽を倒さんとす湖面　雄川

峰近も晴るゝ此日の靑嵐　虎耳

乘おくれ驛前閑に靑嵐　蜒城

一徑の川に出でたり靑嵐　栂子

靑嵐四山に靜く魚板かな　同

大同江

湖流に小舟揺れ居り靑嵐　師耕

『送別句』

夏の月脊中にしよつて君行くか　雄川

七月七日君に離愁の句をつくる　鳥兎

夢に入りて淡水君に涼しかれ　同

居士去つて詩話棋と疎き靈の峯　目池

君を送る山下の徑や花茨　森堂

其聲は何處殘して杜鵑　栂子

去る君と鮮なる間を句に擲ぐ　蜒城

白岳や居士送る日を夏雲湧く　師耕

去る君に山河にごさる雲の峯　虎耳

朝涼と何も手につかないで人々　鳥堂

留別　無佛

此處を去つて三千里外靑嵐

○

靑袰して白衣の人の夢に入る

文藝界

▲江口渙氏　自己經營の芙江樓山に滯在中の處無佛送別句會出席の爲め七日朝歸京す

▲雜誌『鳥文學』七月第四號を發行したり

□京夜吟――其の十二

梅雨

梅雨草を刈る落すて稻の水溜かな　水子

唐黍垂れて松葉たゞあり梅雨の中　春樹

蠶前を温く通りぬ梅雨の土間　迦南

梅雨寒の障子に日さし又開く　田打夫

梅天や軒深く溜く鉢の草　橙黄子

枇杷の實

枇杷熟るゝ葉に居る小さき蟲の數　青史

熟れし枇杷見出でし雨の對座哉　水子

雛鵠は大きく向ふ枇杷の核　迦市

いつ捨てし枇杷の實生や鍍日蔭　春樹

軒鳥の去りて枇杷熟るよ　紫光

枇杷熟るゝ垣低くして直ぐ路上　田打夫

木風はなく夜の人に實枇杷哉　橙黄子

□湖南吟社例

大田七七、六於風骨廬

課題『夏の朝』『淸凉殿』

袖て受ける佛花の露や夏の朝　桃雨

水汲すゝ路地や泉殿　同

夏の朝淡步畑の淸殿　十亭

淡江に魚積む船や夏の朝　白骨

淸凉殿や椽に靑葉のせまる處　同

碑殿から霧むうむ丸木柱泉殿　中京

打たれて來て湖畔流くや瀧の殿　同松

朝虹や夏湖近く帆濡れて　綾済

瀧殿やせゝらぐ石に小祠あり　同

草へ飛ぶ石屋の鎚や夏の朝　雅雲

汐浴びて松原通る夏の朝　蔬

瀧殿に風あり二十日月淡し　同

瀧殿に雨添ふ風の先つ立る　待箏

瀧殿の夜な娘は物の聲　千里

山に從る神の榊や夏の朝　風骨

瀧殿や樹間の灯消えて居　同

次回兼題『冷水』『宿』各三句吐七月十五日締切大田榮町一丁目森川桃雨氏宛投稿の事

院長 醫學士 森定吉
(芙蓉醫院改め)
內科 小兒科
森病院
入院隨意
京城明治町三丁目(舊鶴田醫院跡)
電話二六二三番

日報歌壇

△　ながさだ

夜さなればほのかにありし日を憶ふ阿彌陀佛のかげの色かな

暢はめぐりひはめぐりゆくさまざまの人さまざまの戀をおさして

△　京城　せい子

白百合の花はほのけくすぎし日の淡さおもひをこめて咲くがに

白百合の花をもだけてたつさ見るわれなつつみて夕闇せまる

△　あづさ

紺絹色の山なめぐりてま夏をひろ一筋清く淡江の流る

さやけくも夏の漢山見ゆる朝はつくに陽は昇るなりけり

月白き夏の曠野に夏の虫こいだ鳴くなり草のゆらげば

驟き陽のまひろ雀は砂あびつ庭の松葉牡丹みな紅きがも

いちやうに松葉牡丹は花さちて夕さりくれば風にふかるゝ

○　ひで二

靑嵐會同人第一の例會をたけし宅に開く會す者すべて四名

うなる兒の父にまもられ搖籃に睡光れるこの朝けかも

○　武郎

さ靑なる此の若木さへ吹く風の今日でし蘆るほぎごとある日

○　草堆

幸あれと我が祈るなる此の日はも地平に雲の白光りいつ

○　たけし

母の實をつみてかろらに吹く我の彼ろに高くひよどり鳴けり

新刊紹介（到着順）

▲朝鮮及滿洲（七月號）霖雨漫言、編輯室より（釋尾旭邦）支那幣制改革と銀統一論の謬見（添田博士）內人同化問題と日本の發展（澤柳博士）物價は如何にして決定さるゝか（河津博士）戰役の新世界と東洋問題（永井柳太郎）滿鮮鐵道統一策に一步を進む（久保今以）朝鮮及支那巡遊感想（大口代議士）朝鮮最近四十年間に於ける政變史（國分象太郎）北他諸氏の泥分の外、ヒマラヤ山人の酒と女の上より見たる京城の名士詮若、七項生の京城に於ける妓の女は眺めて居れる毎に益々面白く、三木節の與さん訪問記、泥水から泥水へ等何れも面白し二十五錢　京城南山町一の一四（誌社）

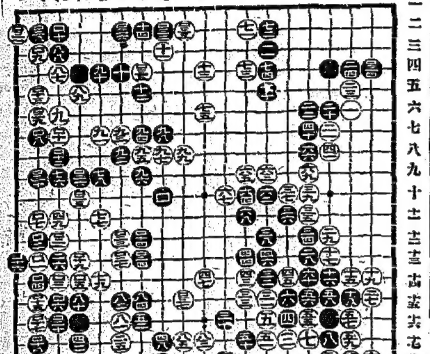
▲科學が生んだ獨逸の富强（河南休男著）本書は獨逸の長を舉げて獨逸に學ぶべき點を科學的に說明したるもにて時節柄有益なる書なり三百餘頁（一圓）東京神田駿河臺東紅梅町六東洋出版社

▲西洋草花栽培法　栗田花水著　上下二編に別ち三十餘の挿繪を挾み上編に土壤、肥料、繁殖法、下編には春夏の兩作花卉八種の培養法を明細に說きたる者なり百八十餘頁（六十錢）東京京橋本材木町三の廿求光堂書店

▲圖案發蒙法（小須賀一郎著）本書は著者が多年の實驗を基礎とし正確なる例證を引いて其の據るべき所を明かにし警鷄上に於ける種々の弊害及び災厄を未發に防ぐ可き方法を示したるものなり全百二十頁（六十錢）東京京橋本材木町三の廿求光堂書店

碁戰（七）

（大正七年六月二十三日　京城日報主催於囲碁會）　四段　喜多文子　四子　鮎貝房之進



一　二　三　四　五　六　七　八　九　十　十一　十二　十三　十四　十五　十六　十七　十八　十九

い　ろ　は　に　ほ　へ　と　ち　り　ぬ　る　を　わ　か　よ　た　れ　そ　つ

讀者の領分

▲ノ部すみ枝子に回答す　朝鮮醫師試驗に付ては大正三年十月府令第百十四號醫師試驗規則（大正六年十月府令第八十號にて一部改正）を御覧あれ著書に付ては指定し難し（府務總監部）

▲先日來當紙に勸業債券月賦販賣取扱のもが出て居りましたが誠によきことに存じます私共もつひ其れに乘り某會社に月々拂込み一年拂込の後解散な人柄に聞き驚き其懸金の割戻を請求致し候處何の彼のと申し止むなく拂込金の四分の三の一割を受取泣ねいり致し候次第如きは少しのお金ながら一生懸命拂込みなさる他の御方にてまだ〜〜他の會社にだまされてお出の方も有之べく實際をお話して御注意申します（杉上）

▲當地の煙草取扱方には別に時間の制限なき爲か日中市內を煙草を擔ぎて各戶を訪ふあり實際に於て臭氣甚だしく市の體面上何とか改良を希望致し度く殊に本居の如きは煙草取り場所なく居より新行して吸む場合日中來客ある時等甚だ不快を感じ居るも土地家に狹き爲め致し方なし斯る家に限り早朝汲み取る樣御願致し度切に願上候（本町玉山生）

▲慶北エスエス生よ、願はくば御住所を御知せ下さい、直に本誌も御送申上ます。私は鄕し代へて居ますから今は不用です（ほうし）

▲八日銀行集會所で拾ひ（第一銀行製）を拾得しましたお落の方は本社受付までお出で下さい（拾得生）

▲本欄投書は簡潔で簡單に願ひ升（係）

多年の經驗と完全設備
銃　修繕
玉井銃工場　他
龍山元町二　電五三八

櫻岳　藤戸計太著

最新朝鮮地理

四六判クロース金文字入　八百五十頁　定價金二圓　郵稅十二錢

著者は地理研究に熱誠にして半島の事情、風俗、慣習の調査をなせる朝鮮通にて全道に殆んど足蹟を印し曾て學生時代に支那富源楊子江を著し盛名嘖々たりしものありしが今回同君の地理研究の結果を發表せり

一本書は大正二年十二月の道府郡行政區域の改正及び其後各道に於ける面洞里の廢合に依る最新の朝鮮地理書にして內容は第一編總論に於て沿革、位置、境界、地勢、氣候、産物、人種、族別、民籍、戶口、言語、文字、風俗、宗教、教育、衣食住、行政、財政、經濟、産業、商業、交通を記し

第二編各道に於て沿革、位置、地勢、交通、經濟、産業、商業、戶口、著名山河等を記し

第三編各地七百餘ケ所に於て沿革、位置、地勢、交通、商業、産物、戶口、表、官公署、學校、會社、組合、町名、名所、舊跡等を記し加ふるに實用的各種の參考表を以てせり

一本書は附錄としてアイウエオ別道府郡島面索引及內地、臺灣、關東州、樺太の地名表及五十音別目次を追加せり

一本書地名には朝鮮諺文を附し日本假名を以て音讀を附加し國語、朝鮮語の連絡を知るに便し引いて字音の關係に依り內鮮關係の密接なるを明白ならしめたり

一本書は內鮮人を問はず官民を論ぜず朝鮮に於て公私諸般の事に從ふ士の最新最好の案內者たり指導書なり

一本書は各種學校各官衙各銀行各會社に最も關係ある著名地の必要なる各般の事項を蒐集せるを以て各種學校、講習會の良參考書なり

一本書は當局者の便利なる各方面の事情を網羅して取捨宜しきに適し讀者をして通覽一過直に全鮮の經濟に運輸交通に便し遺憾なからしめたり

一本書は朝鮮を經營し又旅行せんとするものゝ爲めに充分なる調査研究資料を供し事業計畫實行に當り最良の指針たり又旅行探險者をして安全なる進行をなさしめ危險なからしめたり

一本書は名山麗水名所古蹟に關する詳細なる調査資料を供し遊覽者の探勝歷史家の探究に便せり

一本書は全編五百頁文を綴るに努めて各地の事情に精通するを得べく又全道諸般の事項に當り安然に活動するを得しむることを注意せり

一本書は資材正確周到にして序次懇切を極め讀者をして多趣ならしめ詩文を各所に配在し誠に容喙の好著なり朝鮮事情に精通せんとする有志者は速に本書を購求して左右に備へられんことを望む

發行所　京城太平通二丁目　京城日報代理部　振替京城三〇〇番

取次所　大阪屋號　日韓書房

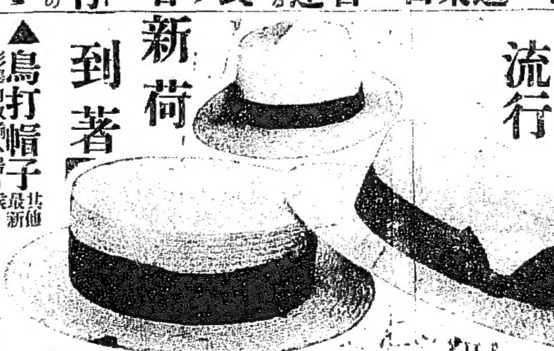
建築金物、土工用具一式
和洋金物商　京城本町三丁目
佐藤半次郎商店
電話二四三番　電略（サト）　振替口座京城一二〇番

鼻が高くなる
隆鼻器無料貸與

鼻は人生の花で最も大切な物で幸と不幸の分れ道は實に鼻の格好一つである青年男女の內で▲獅子鼻▲だんご鼻▲わし鼻▲寢天鼻▲其他鼻の格好の惡き人は本器は從來の注射や隆鼻術でなく自宅で人知らぬ間に何人にても見違ふ程立派に鼻の低くなる新案特許の隆鼻器を希望者に無料で貸與す郵券二錢封入申込めば詳細
東京神田猿樂町一丁目二番地　東京醫療器械製作所
京城本金部郵送す

內科　外科
小兒科　花柳病　皮膚病
京城本町四丁目（元金井眼科醫院跡）
內田病院
電話三一六番

最新流行
ムギワラ帽子　金五十五錢より金四圓迄
パナマ帽子　金一圓廿錢より金五圓廿錢迄
新荷到著



▲鳥打帽子　共他最新
形澤山取揃へ居り候
●御注文の際は柄向（縞とか無地など）色合御嗜好及價格頭廻り寸法御申越下度候はゞ適當の品見計ひ御送付可申上候
送料（鮮內十二錢　外三十錢）
京城大平通　京城日報代理部
電話六〇〇九番・振替京城三〇〇番

開店披露
農産物海産物　貿易商及委託販賣
奉天昭德大街西二條十七號地
德喜洋行
株式會社平安攻玉園出張所
內地朝鮮産白米果物類
極て御便利に取扱ひ一般顧客の御滿足を得る樣相勉め候間多少に拘らず御注文の程伏而願上候

確實なる貴金屬は信用ある弊店にて求められよ

拾八金　眞珠石入　三圓五十錢以上
五圓五十錢以上　八圓以上
拾八金　ダイヤモンド入　拾圓以上
拾八金製　內彫　五圓以上
純金製　內彫
拾圓以上

本町二丁目　村木時計舖　京城支店
電長四七一　振替京三一九〇

好評經濟的事務用　金ペン付
パインビジネスペン
定價壹圓九拾五錢
京城太平通一丁目　京城日報代理部　振替京城三〇〇番

新荷著　スヰツル製
懷中時計

アンクル機械
懷中時計（▲印はラヂューム入）
ニッケル側十八型 ……

石は今回新著の商品にして他店に無き品の外優良なる時計蓄音器ミシン機自轉車洋酒各國貨直輸入商
イングレッシー商會
本店京城本町二丁目　電九七二

日本郵船出帆　仁川
◎大連、天津行　相模丸　七月十九日
酒田丸　七月十一日
×高砂丸　七月廿九日　船客御取扱
仁川海岸町二丁目（電話十番）　堀回漕部

阿波共同汽船　仁川出帆
大連直行（關東都督府命令航路）
廿一共同丸　七月十二日
朝鮮鐵道主要驛に於て荷客連絡取扱
仁川代理店　野口回漕部
元山代理店　田中商會
京城取次店　河村運送店

朝鮮郵船出帆
平壤丸　七月十二日　元山發
越後丸　七月十五日　元山發
雄基丸　七月十四日　釜山發
京畿丸　七月十三日　元山發
鏡城丸　七月十一日　元山發
山陽丸　七月十二日　釜山發
濟州島行
多島海行
木浦麗水線
釜山麗水線
京城南大門通　仁川　元山　釜山　木浦
其他各寄港地に荷客取扱店あり

尼崎汽船　仁川出帆
大阪直行
第一大湖丸
下關、神戶、大阪行
御注意
歐洲航路　南洋航路　北米航路　南米航路
內地各港出帆日毎旬數回

大阪商船出帆
神戶、大阪行（仁川出帆）　七月廿二日　後五時
友康丸
群山、大阪行　七月十一日
清津行（元山出帆）
平安丸　七月十三日　後十二時
安平丸　七月十九日
上海、基隆、打狗行（大連出帆）
湖北丸　七月十二日
北隆丸　七月廿四日

釜山出帆廣告
◎元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三琴平丸　七月五日後四時出
◎門司、宇品、神戶、大阪行
第三琴平丸　七月十五日後四時出
◎佐須奈、嚴原、博多行
天眞丸　七月四日午後十一時出
大池回漕部